



あなん

7月号 [No.660]

平成25年(2013年)7月1日

～ 阿南風景百選 大賞作品 ～



春の風景部門 「8月15日を迎へ思い起こすもの」 原 嘉久仁さん



夏の風景部門 「夏の夕暮れ一踊り」 松浦 孝さん



秋の風景部門 「水上花火」 勝瀬 彪さん



冬の風景部門 「2013年初日の出」 井上 雅雄さん

特集

加茂谷は、カタツムリのパラダイス！




特集

加茂谷は、カタツムリのハラダイス!

今年1月、カタツムリの新種「アナナムシオイガイ」が水井町で発見され、話題になったことは記憶に新しいところ。その大きさ、わずか3ミリ。この小さなカタツムリが今、加茂谷地域の人々に大きな夢を育ませています。

歴史的発見をもたらした一人である松田春菜さんの解説と併せて、その魅力や地域の取組を紹介します。

《解説》

阿南市の山間部。石灰岩の隙間にたまった落ち葉をピンセットでそつとめくると、その下からクリム色をしたキラリと光る小さな巻貝が姿を現します。大きさはわずか3ミリ。砂粒程でありながら、ルーペを通して見ると、見事な造形美を誇っています。時に、殻からかわいらしい体の一部をのぞかせて、けなげにはっています。

この人知れずひっそりと生きる小さなカタツムリは「アナナムシオイガイ」。今年の1月に新種として発表されました。全世界で阿南市のごく限られた範囲にしか生息していません。徳島県はカタツムリの宝庫として知られています。が、とりわけ阿南市の中山間地には、「アナナムシオイガイ」だけでなく、魅力あふれるカタツムリが数多く生息しています。





プロフィール

松田 春菜 さん

(Haruna MATSUDA, 1984年生・北海道出身)

徳島県立佐那河内いきものふれあいの里
 ネイチャーセンター専門研究員 / 徳島大学大学院
 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部特別
 研究員。博士(農学)。
 2008年 水産大学校水産学研究科修了
 2011年 広島大学大学院生物圏科学研究科
 博士後期課程修了
 2013年 日本貝類学会奨励賞受賞

企画展「カタツムリ」を開催



カタツムリについてさらにくわしく知りたい方、
 ぜひネイチャーセンターまで!

日時 7月11日(木)~8月31日(土) (月曜日休館)
 入場料 無料
 園 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里
 ネイチャーセンター (☎088-679-2238) へ



QRコード



カタツムリって?

「カタツムリ」は、大人から子どもまで誰もが知っているなじみの生き物ではないでしょうか。梅雨と聞いて誰もが連想する動物がカタツムリです。雨が降ると、家の周りの紫陽花、塀やガードレールなどを悠々と歩いています。「でんでん虫」とも呼ばれるため、「虫の仲間?」と聞かれることもありますが、背負っているのは「貝殻」ですから、海のサザエや川のカワニナや田んぼのタニシと同じ巻貝の仲間です。「カタツムリ」という呼び方は、陸にすんでいる巻貝につけられたニックネームです。

皆さんが良く見かけるのは、葉の上やコンクリートの壁に付いているほんの一部の種類。その他大勢は私たちの生活圏とは少し離れた山間部にいるため、その種類の多さに気付く機会はなかなかありません。日本のカタツムリは色こそ地味で目立たないものの、その姿かたちは多様です。大きさは1gほどから手のひら大まで。生息環境もさまざまで、こんなところに?と思ってもよらない場所で見つかる面白さもあります。この生物に魅せられた熱狂的なファンもたくさんいて、阿南市の加茂谷地域などはそれらのファンの間では全国的に知らわたっています。徳島県は、全国的にも極めて多種多様なカタツムリ(陸生貝類)が生息する地域で、その数は170種以上に及びます。

阿南市とカタツムリ

阿南市とカタツムリの結びつきの歴史は1900年代初頭までさかのぼります。日本貝類学の基礎を築いた平瀬与一郎氏は、このころに全国で陸貝の大規模な調査を開始し、徳島県には淡路島在住の生物採集のエキスパートである森崎周吉氏を派遣しました。明治34年、最初の採集地として選んだのが阿南市水井町と太龍寺山でした。陸貝調査では、まず、その土地の石灰岩地を狙うのが常。阿南市には、多数の石灰石鉱床が分布し、1700年代から石灰石採掘が始まった記録があり、古くからその存在は知られていたことがうかがえます。



この時に森崎氏が持ち帰った標本は、後にアメリカの貝類学者ピルスブリー博士のもとに送られ、次々と新種として発表されていきました。

この中には希少種が多く含まれており、とても美しい「ケショウマイマイ」(徳島県のみ分布)、徳島県指定希少野生生物の「クチキレムシオイガイ」(徳島県のみ限産)、煙管のように細長い「デールギセル」(徳島県のみ分布)、そして日本最大級のカタツムリである「アワマイマイ」(四国に分布)や殻の周囲に毛が生えたUFOのような形をした「ヒラオオケマイマイ」(オオケマイマイの地方型で徳島県に分布)がいます。その後、第2回の採集時(明治35年)にも再び水井町を訪れました。この時には、世界で加茂谷地域のみで生息する希少種「モリサキオオベソマイマイ」などを採集しました。第3回(明治36年)にも太龍寺山や水井地域で採集。その後も研究者が次々とやってきて、新しい発見をしました。今では加茂谷地域だけで約80種の陸生貝類の生息が確認されています。種類数や個体数が多いだけでなく、希少な種類やそこにかいない固有の種類が見つまっている阿南市。100年以上も前から注目されていたこの土地は、陸貝の研究者であれば知らない人はいないほどに有名な聖地です。

なぜ阿南市に希少なカタツムリが多い？

それではなぜ、阿南市にこんなに多様な希少なカタツムリが多産するのでしょうか。その理由は、阿南市の「地質」と「気候」にあるとみえます。阿南市は、その大部分が秩父累帯に位置し、複雑な地質構造をもちます。また、石灰岩の露頭があちこちに存在し、採石も行われています。これらの石灰岩の起源は海にあり、その主成分は貝類の貝殻の主成分でもある炭酸カルシウムです。もともと先祖が海にいたカタツムリたちにとつては、このような成分を岩から溶かし出す雨が多い場所は、生き残り、独自の進化を遂げるには好都合であったと考えられています。阿南市の中山間地で、そのような小さな進化のドラマが粛々と続き、現在の多様なカタツムリ相が成立しているわけです。中山間地で大規模開発が行われなかったことも幸いしました。



標本はすべて実物大



デールギセル

太龍寺山で発見された徳島県固有種。キセルガイ科の中でも細長く、巻きは16層にもなる。



モリサキオオベソマイマイ

加茂谷地域にのみ生息する希少種。殻表面に細かい毛が生えている。



コニホンマイマイ

丸っこく光沢がある。落ち葉の下にいたり、葉の裏についていることもある。



ケショウマイマイ

殻が白く、つやつやとして美しいカタツムリ。徳島県の石灰岩地帯の固有種。



クチキレムシオイガイ

石灰質の蓋を持ち、落ち葉の下やがれきの間に生息する。徳島県固有種で、産地が極めて少ない。



アナムシオイガイ

阿南市水井町で見つかったクチキレムシオイガイとは近縁。今のところ、加茂谷地域の一部でのみ確認されている。



© 画像：ネイチャーセンター、河野 光さん提供





アナムシオイガイとは

さて、話を「アナムシオイガイ」に戻しましょう。この貝は「ムシオイガイ亜科」と呼ばれるグループの一種です。この「ムシオイ」の名前は、貝殻に虫のような細い管を背負っている貝ということで付けられたもの。殻は巻きのでっぺんを上から見て、幅の一番広いところが約3.5ミと小型です。直径1ミの蓋が小さな殻の口を覆っていて、田んぼに「タニシ」とは近い仲間です。

アナムシオイガイが住んでいるのは石灰岩地帯。日に照らされる林床の落ち葉の間は絶好のすみ場所。水分が多すぎるジメジメとした場所はむしろ生息に適していません。「歯舌」と呼ばれるヤスリのような歯を持つことは分かっていますが、何をどのくらい食べているか、どのような生活をしているか、まだ、何もわかっていません。これから研究が始まります。

新種発見までの道

最初の発見は、今から42年前にさかのぼります。1971年3月27日、多田 昭さん(74歳・東かがわ市)が陸貝を採集していた時のことでした。多田さんは全国的に名の知られ

たアマチュアの研究者で、高校教員として働く傍ら、休みの日になると四国中のみならず全国に出向いて熱心に陸貝を採集し研究をしていました。この日は水井町を訪れていました。

山間部の石灰岩地で探していると、気になる陸貝を発見。これが後に「アナムシオイガイ」として発表されるカタツムリです。多田さんは、その陸貝が「ムシオイガイ」の仲間であることは一見してわかるものの、これまで見てきた種類とはやや異なる形をしていることに気が付きました。そこで多田さんは、「ムシオイガイ類」に造詣の深い安藤保二さん(故人、当時は兵庫県に在住)に見解を求めました。安藤さんは、そこからわずか数ミの所で見つかっていた「クチキレムシオイガイ」とよく似ていることに着目し、「現時点では『クチキレムシオイガイ』の変異(同種でもわずかに形が異なっている)と考えるのが妥当」との見解を

多田さんに伝えました。

2回目の

発見は、それから36年後の2007年12月24日のことでした。



アワマイマイ

阿南市水井町で最初に発見された日本最大級のカタツムリ。



セトウチマイマイ

中国・四国地方の平地で最も普通に見られるカタツムリの一種。



コベソマイマイ

セトウチマイマイと同様に、人家の近くでも見られる大型のカタツムリ。



ヒラオオケマイマイ

殻の周縁に毛があり、老成すると徐々に毛が抜け落ちる。石灰岩地帯に生息する。



若いアマチュア研究者である河野光さん(27歳・羽ノ浦町)が、多田さんが採集した場所の付近で、再びこの陸貝を採集しました。ルーペで観察した河野さんは、多田さんと同じく、この貝が「クチキレムシオイガイ」とよく似ていること、かつ、やや形態が異なることに気が付きました。そこで、「ムシオイガイ類」について研究を進めていた矢野重文さん(62歳・香川県観音寺市、当時は高校の教員)に標本を送り、種の同定を依頼しました。

矢野さんは、貝殻の口をふさぐ「蓋」の形にも着目。すると、蓋の形は「クチキレムシオイガイ」に似ており、殻の形は1982年に木沢村(現・那賀町)で見つかった「トウゲンムシオイガイ」に似ていることに気が付き、この陸貝が新種ではないかと考えました。もし、この陸貝が新種であるなら、距離的に非常に近い場所に、形態がよく似通った希少な3種(クチキレ、トウゲン、本種)が生息していることになります。おまけに形態の一部が少し異なるだけです。新種として発表するには不安でした。

矢野さんや河野さんと交流があり、その不明の陸貝について聞いた徳島大学総合科学部の浜野龍夫教授は、それらの貝類はすべて同じ種類ではないかと疑いました。その一方で、これが本当に新種であるなら非常に

興味深いことであると考え、野生生物のDNA解析の専門家である同僚の山城 考准教授や植月茉莉亜さん(同大学院生)らと研究チームを編成し、研究をスタートさせました。そして、四国の右下いきもの研究会(佐野雅史会長)の熱心な協力を得て集めたサンプルから、DNAを抽出して解析した結果、3種はそれぞれが別種であるとの確証を得ました。それを受けて、当時、同大学院の特別研究員としてチームに参加していた私が中心となり、形態を再検討し、他の種と異なる特徴を明らかにしました。こうして、新種として発表するデータがそろいました。

研究に参加した皆さんの総意の下、この陸貝には「Cipangocharax ananensis」(シパンゴチャックス アナンエンシス)という学名と「アナムシオイガイ」の和名が付けられ、2013年1月に日本貝類学会誌「Venus」で発表されました。学名は、「阿南に縁のあるクチキレムシオイガイ属の仲間」という意味です。最初の発見から41年が経って、やっと「新種」として学会で認められました。

これから

現在までに「アナムシオイガイ」が見つかっているのは加茂谷地域の

わずか2^キ圏内のみです。このような驚くべき分布範囲の狭さは、生息に適した場所である「石灰岩地帯」と深く関係していると考えられます。

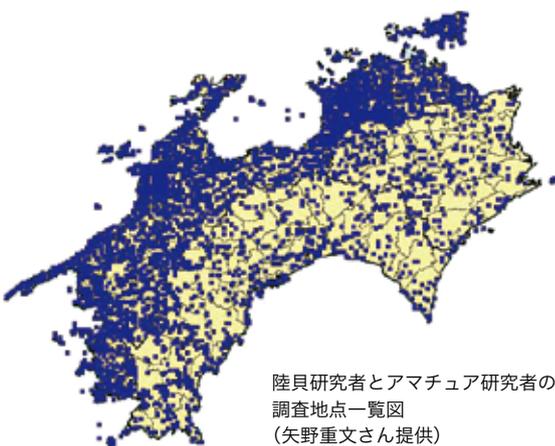
石灰岩の露頭は阿南市の山間部にパッチ状に広がっています。飛び跳ねたり、泳いだりして移動する他の生き物とは違い、『ほう』ことだけが移動手段のカタツムリにとって、離れた石灰岩の露頭は海をはさんだ外国と同じ。太古の昔、それらの場所が海でつながっていた時は自由に移動できたでしょうし、川でつながっていたならば流されて来たのかもしれない。それから気の遠くなるような年月、「アナムシオイガイ」は加茂谷地域でひっそりと独自に適応し、生残し続けて来ました。今日までにどのような進化のストーリーがあったのか、想像するだけでもワクワクしませんか。

「アナムシオイガイ」のような地域固有のカタツムリは、いわば「ご当地生き物」。つまり、その場所が独自の環境であることを象徴するかけがえのない生き物です。一方で、そのような希少な生物が生活圏内にいたとしても、重要性に気づかないことがほとんどです。はるか昔からひっそりと近くに在り続ける希少なカタツムリや、このたび発見された「アナムシオイガイ」。これらの生物と地域と人がつながり、世代を超えて見守られ受け継がれていけば、

いずれはその地域にしかない物語となつて地域に元気を与えてくれることでしょう。

カタツムリの調査はまだこれからです。目立った石灰岩地での調査は行われてきましたが、アマチュア研究者が多く住んでいる香川県や愛媛県と比べると、徳島県には未調査地がまだまだたくさん残されています。もちろん、阿南市は最重要地のひとつです。希少な陸貝の保全のためには、生態解明などの研究が必要です。今後とも地域の皆さまのご協力に期待しています。

松田 春菜



陸貝研究者とアマチュア研究者の調査地点一覧図
(矢野重文さん提供)



③



④



⑤



②



①

アマチュア研究者の活躍に期待

新種発見の裏の立役者ともいえる「四国の右下いきもの研究会」は、貝をこよなく愛するアマチュア研究者の集まりです。会員は7人。松田さんもメンバーの一人です。会長の佐野雅史さん（51歳・羽ノ浦町）と「アナンムシオイガイ」を採集した河野 光さんは、7年前に四国貝類談話会で知り合った間柄で、父母ともに入会する河野家とは家族ぐるみの付き合いが続いています。

活動は主に個々で行いますが、時には仲間を誘って県外遠征することもあります。全国のアマチュア研究者と情報交換したり、採集した貝を送り合ったりもしています。

アマチュアとひと口にいつても、力の入れようは半端ではありません。5泊6日で奄美大島に遠征した時のこと。島の観光もせず、ひたすら海辺で貝殻を採集。潮が引いた時は、夜中であろうと海に出て貝殻を探し

①四国の右下いきもの研究会の佐野さん(左)と河野 光さん。②山中でカタツムリを採集するようす。③カタツムリの採集道具。ピンセットは必需品。④標本は専用ケースに入れて大切に保管。⑤ガードレールや道路標識などに残された、この何とも奇妙な連続模様は「はみあと」と呼ばれるもので、カタツムリが食事のために歯舌で削り取った跡。



たそうです。これには光さんの母、佐知さん（56歳）もさすがにあきれたそうです。（笑）「釣り人が、より大きい魚を求めて遠征するのと同じ感覚ですよ。」と佐野さん。まだ見ぬ貝を求めてひたすら探し続けるその情熱が、カタツムリの新種発見の礎になったのですから納得できます。

光さんは、父・良作さん（54歳）の影響を受けて貝の採集を始めました。「種類の多さが魅力です。採集が簡単で、保存も手間いらず。何より、海、川、山にすぐ行けるところが、阿南市民の強みです」。20年余りかけて集めた貝の標本は約3500種。種別や採集日、採集場所などが細かく管理され、その膨大な情報は貝類研究者からも一目おかれています。こつこつ集められた標本や情報が、貝類研究の一線で生かされているのです。

新年の始まりに 明るい話題を提供

新種のカタツムリ「アナンムシオイガイ」が水井町の山林で発見されたことは、マスコミ等で大きく報じられました。

1月22日発行の日本貝類学会誌「Venus」で「アナンムシオイガイ」が発表されたことを受け、市は、徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンターとの共同記者会見を開きました。会場に詰めかけたマスコミは11社。国内大手ポータルサイトのトピックスにも掲載されるなど、新種発見のニュースは日本中を駆け巡りました。

記者会見で岩浅市長は、「水井町で発見されたカタツムリが新種として世界で初めて確認され、名前の一部に「アナン」の名称が付けられたことは、新年の明るい話題であり、大変喜ばしいことです。研究員の皆さまの研究成果に敬意を表します。」とあいさつしました。



市長公室で行われた共同記者会見のようす。岩浅市長があいさつした後、研究に携った矢野さん(右)と松田さんから、研究成果などの説明が行われました。（1月22日）

「徳島・生物多様性博覧会」でも大人気!



記者会見から5日後の1月27日、徳島市のあわぎんホールで「徳島・生物多様性博覧会」が開催されました。会場全体が森の中にいるような雰囲気にもまれ、動植物の観察コーナーや体験コーナーなど、27団体による多彩なブースが設けられました。なかでも、ひとときわ人気を集めていたのが、佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンターが出展した「アナンムシオイガイ」のコーナーです。新聞やテレビを見て知ったという親子連れが続々と訪れていま

「一躍『時のカタツムリ』となったアナンムシオイガイ」。予想以上の反響に、松田さんは「カタツムリを見るために行列ができるなんて、生まれて初めての経験でした。」と興奮気味。途切れることのない来場者の応対にうれしい悲鳴を上げながらも、顕微鏡やパネルを使いながら丁寧に説明していました。

同センター長の田代優秋さんは、「身近な生き物でありながら存在感が薄れていただけに、実際に手に取って見ていただけるいい機会になりました。これからは、希少生物を活用した地域活性化の取組にも貢献できれば。」と話していました。

地域の良さを知り、磨き、そして宝に

「アナンムシオイガイ」の発見と時を同じくして、加茂谷地域では、将来に向けたまちづくりを住民レベルで考える「加茂谷元気なまちづくり会」が発足しました。過疎化が進む地域の厳しい現状を見つめ直し、どのようにまちを活性化させていくのか。そんな故郷への思いを熱くする地域の人たちの背中を後押しするかのよう、新種発見のニュースが飛び込んで来たのです。ほとんどの住民が知らなかった希少生物の存在。もしかしてまちおこしのヒントになるかもしれないと、さっそく松田さんを招いて勉強会が開催されました。

「国内で約800種いるとされるカタツムリのうち、加茂谷では約80種が確認されています。」

1割程度と思いがちですが、実はすごい。新種として発見された「アナンムシオイガイ」もそうです。が、「モリサキオオベソマイマイ」も世界中でここにしか生息していません。国内最大級の「アワマイマイ」は、加茂谷で初めて発見されました。カタツムリの多様性を加茂谷が支えているといっても過言ではありません。こうした希少種を育んできた加茂谷の大自然は、一朝一夕に形成されたものではなく、太古から脈々と守り続けられてきたもの。その証として存するカタツムリは、誇るべき「ご当地生き物(地域資源)」といえます。

松田さんの熱のこもったトークに、聞き手はぐいぐいと引き込まれていきました。「地域自慢がまた一つ増えました。」と笑顔をみせるのは会長の山下和久さん(58歳・細野町)。「今、加茂谷では、農業振興や歴史文化遺産を活用してまちおこしにつなげようと住民が知恵を絞っています。「アナンムシオイガイ」の発見は、その起爆剤になると期待しています。加茂谷には、磨けば輝く原石がまだまだあります。それらを輝く地域の宝として後世に受け継ぐためにも、みんなの思いを一つずつ形にしていきたい。」と意欲的です。





「加茂谷は、カタツムリのパラダイス！」何やらすごいテーマで始まった授業。6月3日、吉井小学校で全校児童を対象にカタツムリの出前授業が行われました。

冒頭、カタツムリが「好き」か「嫌い」かという質問に、9割近い子が「嫌い」と答えたのには、さすがの松田さんも苦笑い。気を取り直して、写真や動画を交えながら、カタツムリの魅力や加茂谷地域のすごさについて説明。『「アナムシオイガイ」は、世界中で、日本の、四国の、加茂谷にしかないんだよ』。松田さんのユーモアあふれる語り口調に、子どもたちは興味津々のようす。「加茂谷ってすごいんだ」。いつの間にか、子どもたちの心の中には大きな地域自慢が芽生え始めていました。

小さな心に芽生えた 大きな地域自慢



何だか、うれしい

「世界中で加茂谷だけ」って聞いて、何だかうれしくなりました。ふるさと自慢が一つ増えたって感じ。今までカタツムリのことをあまり考えたことはなかったけれど、興味を持って探してみようと思います。

4年 藤川 修吾さん



「大吉」っていうの

すごく大きかったから「大吉」って名付けました。ねちよねちよして居るけれどかわいらしくて大好き。加茂谷でもっとたくさんのかたつむりが見つかってほしいと思いました。

2年 小野 怜奈さん



もつと研究してみたい

加茂谷だけで約80種ものカタツムリが見つかったことを知り、すごく興味がわいてきました。知っているようで知らなかったカタツムリのことを、もつと研究してみたいと思いました。

6年 近藤 来未さん



自然環境を考えたよい町に

3歳しかない小さなカタツムリを見つけてるなんて本当に「すごい」。カタツムリがいつまでも生きられるよう、自然環境を考えたよい町にしていきたいと思いました。

6年 木村 友紀さん



広がる夢、輝く個性

多くの人に驚きと喜びをもたらした「アナムシオイガイ」の発見は、加茂谷地域の恵まれた自然環境と陸貝研究者の地道な採集活動や高度な研究調査によってもたらされました。そして今、その身近な存在が、地域に活力を与える新たな地域資源として見直されようとしています。

地域の勉強会や学校の出前授業で松田さんがこんな提案をしました。「カタツムリをモチーフにしたロールパンやロールケーキといったご当地グルメを開発してみても。貴重なカタツムリですが、希少な生物としてだけでなく、いろいろな人がさまざまな視点からカタツムリに関われるようになれば、地域のにぎわいに結び付いていくのではないのでしょうか」。

7月16日には、吉井小学校で野外観察会が予定され、加茂谷中学校でも出前授業が行われます。カタツムリの輪がどんどん広がっていくなか、地域では「ゆるキャラ」構想も浮上しています。いつそのこと、80種全部集めて「カタツムリ博物館」をつくってみるのもおもしろい。名付けには、きつと四国の右下いきもの研究会が協力してくれるはず。

人が集まれば会話が弾み、おのずと知恵も生まれます。未来を創造する「加茂谷元気なまちづくり会」の挑戦は始まったばかり。小さなカタツムリが育む地域の人たちの大きな夢。どこにもない個性が今、輝き始めようとしています。

おくりもの

阿南ライオンズクラブ様から設立50周年記念として植樹していただきました。

●陽光桜6本、芝桜600ポット、山ハギ400ポット（文化会館へ）

●陽光桜12本（牛岐城趾公園へ）

●ヒマラヤ桜10本（那賀川中学校へ）

「ご寄贈いただきありがとうございます。ありがとうございました。」

後期高齢者医療被保険者証 8月1日に更新

現在お持ちの「後期高齢者医療被保険者証」の有効期限は7月31日(水)です。8月1日(木)以降は、7月中に送付する新しい被保険者証（むらさき色）をお使いください。

また、「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の有効期限も7月31日(木)です。平成24年度の認定証をお持ちの方で、平成25年度も住民税非課税世帯と確認できた方には7月中に新しい認定証を送付します。

平成25年度の保険料の決定

通知を8月初旬に送付します。納付書でお支払いいただく方には、納付書も同封します。

問い合わせは 保険年金課
(☎22-8064)へ

外国人住民の 住民基本台帳ネットワーク システムの運用を開始

7月8日から、外国人住民の住民基本台帳ネットワークの運用開始に伴い、住民票に住民票コードが記載されます。対象者へは住民票コードを通知します。

また、住民基本台帳カードについても交付できるようになります。

問い合わせは 市民生活課
(☎22-1116)へ

電子証明書交付の 一時停止のお知らせ

認証局の更新作業に伴い、7月29日(月)から30日(火)の間、電子証明書発行・失効サービスが実施できません。パスワードの変更・初期化・ロックの解除等については、通常どおりの利用が可能です。

問い合わせは 市民生活課
(☎22-1116)へ

市長通信

お元気ですか



阿南市長
岩浅嘉仁

「日本女性会議に 阿南の先達を偲ぶ」

本年、10月11、12、13日に「第30回日本女性会議（男女共同参画）2013あなん大会」が全国から約2500人が集い開催されます。この大会は、今まで大都市や県庁所在地の都市で開かれてきましたが、人口10万人に満たない地方都市で催されるのは今回が初めてです。それだけに「小さな都市の大きな挑戦」になります。市民の皆さまのご協力により、ぜひ成功に導きたいものです。今回の市長通信は阿南市の初代名誉市民紅露みつさんをご紹介いたします。

紅露みつ（明治26（1893）年、昭和55（1980）年）さんは、群馬県碓氷郡坂本町（現在の安中市）の上原家に生まれました。昭和のはじめ、桑野町出身で、東京で弁護士として活躍していた紅露 昭氏と結婚。昭氏は昭和7年より終戦まで本県選出衆議院議員として5回連続当選。この間、みつさんは代議士夫人として内助の功を果たし、戦後、夫、昭氏が公職追放にあり、昭和21年4月婦人参政権による戦後初の総選挙に、夫の身代わり候補として立候補し、当選。当時、39人の婦人議員とともに、日本初の女性代議士となりました。

爾来、衆議院議員1回、参議院議員4回と、

23年間にわたり、国政に貢献されました。初立候補時には「家庭生活の改善：雑用にわずらわされている婦人に、せめて1時間でも2時間でも教養の時間を与え、政治への関心を深めたい。それは男性との対立ではなく、婦人の地位向上に男性の協力を切望するものである」と訴え、今日の男女共同参画社会への礎ともいえる主張を展開されました。

国会では、衆参両院初の女性委員長（在外同胞引揚特別委員長）として、戦後処理問題に献身的に取り組むほか「売春防止法」「酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止法」「母子福祉法」「老人福祉法」など、数々の福祉政策は「紅露プラン」と呼ばれ、現在のわが国の社会福祉を築きあげました。

また、広島に落ちた原爆で、当時見習士官だった唯一の子息を失ったこともあり、戦争遺族援護にも尽力されました。

そのお人柄は「終始にこやかにして凛然。演説は荘重な口調でじゅんじゅんと説き、迫力と説得力があり、重厚。反面小さい問題でも丹念に追及し、研究を怠らない勉強家であった」と評されています。

徳島出身の作家三田華子はその作品「阿波女まんだら」の中で「華麗に勇敢に、最高の女の花道を堂々とまかり通った人。そして花の舞台を後に赤いじゅうたんを敷きつめた花道を優雅に去っていった人。これが紅露みつさんである」と政界引退を惜しみました。

私たちは偉大な先達を阿南市が持ったことを誇りに、秋の全国大会をぜひ成功させたいものです。



市営住宅入居者募集

次の市営住宅への入居者を募集します。

<一般募集住宅>

住宅名	所在地	戸数	間取
中川原	横見町中川原	1	2LDK
		1(单身可)	2DK
西方	長生町西方	1(单身可)	2DK
中島	那賀川町中島	2	3DK

◆**申込資格等** 次の①～④に全てに該当する方。

- ①阿南市に住民登録または勤務地を有し、持家がないなど居住に困っていると認められる方。
- ②同居しようとする親族がいること。ただし、婚約者の場合は、入居を指定した日から3カ月以内に結婚し、同居できる方に限ります。
- ③政令で定める収入基準を満たす方。
- ④申込者および同居する親族が暴力団員でないこと。

◆**申込みに必要な書類**

- ①市営住宅使用申込書（住宅建築課備え付け）。
※申込書には押印が必要。
- ②入居希望者全員の住民票。
- ③収入を証する書類（所得課税証明書、源泉徴収票（給与支払明細書）など）。
- ④婚約中の方は、婚約が証明できる書類。

◆**入居者の選定方法**

- ①受付時に書類審査を行います。書類に不備がある場合は受け付けできません。
- ②書類審査後、希望する住宅を1つ選んでいただきます。
- ③各住宅で募集戸数を超える申込みがある場合は、抽選により決定します。
- ④不正な申込み等が発見された場合は、当選資格を取り消します。また、申込み後、入居までに同居親族の変更（出産、死亡を除く）または婚約者が変わった場合は、その申込みを無効とします。

◆**受付日時** 7月11日(木)・12日(金) 9:00～17:00

◆**抽選日** 7月25日(木)・26日(金) ※抽選がある場合のみ

◆**入居予定日** 9月1日(日)

※家賃、敷金、収入基準などさまざまな条件や制約がありますので、くわしくは、お問い合わせください。

問い合わせは 住宅建築課（☎22-3431）へ

国民健康保険加入者の皆様へ 限度額認定証の更新時期です

現在お持ちの認定証の有効期限は7月31日(水)です。8月以降も認定証が必要な方は、交付申請手続をしてください。
自己負担限度額等の支払い
70歳未満の方は、医療機関の窓口で「限度額認定証」を提示することにより、医療費（1カ月ごと）の支払金額が、自己負担限度額までで済みます。また、住民税が非課税世帯の場合は、入院時の食事代

も合わせて減額されます。70歳以上の方で、住民税非課税世帯の場合は「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示することで、自己負担限度額や入院時の食事代が減額されます。
受付開始日 7月1日(月)
申請に必要なもの 被保険者証、印鑑、住民税非課税世帯の方は、入院時の領収書または証明書が必要な場合があります。
問い合わせは 保険年金課（☎22-11118）へ

平成25年度 国民年金保険料免除申請を 7月から受付

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除・納付猶予となる制度があります。
免除申請には所得要件があり、本人、配偶者および世帯主（30歳未満の方が対象の納付猶予は本人および配偶者）の前年所得が対象となります。
平成25年度分（平成25年7

月分から平成26年6月分まで）の免除申請を7月1日(月)から受付します。
※前年度分（平成24年7月分から平成25年6月分まで）の免除申請の受付は、7月31日(水)までです。
申請時に必要なもの 年金手帳、印鑑
※退職（失業）したことを確認できる雇用保険受給資格者証または離職票が必要な場合があります。
問い合わせは 保険年金課（☎22-11118）へ

情報公開・個人情報保護の施行状況

(単位:件)

	開示請求	処理件数	処理の状況				公開率
			開示	部分開示	不開示	不存在等	
情報公開	53	57	11	32	4	10	91.5%
個人情報	0	0	0	0	0	0	0%

$$\text{公開率(\%)} = \frac{\text{開示件数} + \text{部分開示件数}}{\text{処理件数} - (\text{不存在等件数})} \times 100$$

次のとおりです。
平成24年度の施行状況は、

情報公開・個人情報保護 制度の施行状況の内容

あぶない! こんなに事故が

交通事故	件数 死者 29件(1,107) 死傷者 1人(2) 負傷者 39人(168)
救急	件数 274件(1,427) 搬送人員 266人(1,357)
火災	件数 2件(13) 損害額 3,161千円 (8,976千円)

●阿南署管内平成25年5月分合計
カッコ内は1月からの累計

問い合わせは 行政情報課
（☎28-9885）へ

住宅リフォーム補助金申請の受付

対象 申請時において建築後5年以上経過した住宅で、次の①～

- ③の工事に該当するもの（①は必ず実施、②③の実施は自由）
- ①高さが1.5メートル以上の家具の固定
- ②現に居住の用に供する部分について行うリフォーム工事
- ③地震時に倒壊の危険があるコンクリートブロック塀等の耐震化工事

※補助対象とならない工事の主なもの

- ・新築、増築に係る工事
- ・造園等の外構工事
- ・電話、インターネット、ケーブルテレビ等の配線工事
- ・浄化槽設置工事
- ・解体工事
- ・5年以内に増築された部分のリフォーム等に係る工事

補助要件 次の事項をすべて満たす必要があります。

- ・市内に本店を有する建設業者等が施工すること
- ・補助対象工事に要する経費の合計が20万円以上であること
- ・補助金の交付決定後に着手し、平成26年3月31日までに完了報告書の提出ができること
- ・木造住宅耐震改修支援事業等による補助を受けていないこと

補助金額 補助対象経費の5分の1（上限20万円）

受付期間 7月1日(月)～31日(水) 8:30～17:00
(土・日・祝日を除く)

申込方法 申請書（住宅建築課備え付け）に必要事項を記入のうえ、添付書類をそろえてお申込みください。

※郵送等での申請は受付できません。

受付件数 80件 ※希望者多数の場合は抽選となります。

受付・問い合わせは 住宅建築課（☎22-3431）へ

わな猟免許取得 補助金申請の受付

対象 次の条件に全て該当する方

- ・阿南市に住所を有する方
- ・平成25年度内にわな猟免許を新たに取得する方
- ・わな猟免許取得後、狩猟者登録を行い、有害鳥獣駆除業務に従事する方

補助金額 6500円（講習会受講料相当額）

定員 20人（申込順に受付）

申請期限 平成26年2月28日(金)

申請方法 申請書（農林水産課備え付け）に必要書類を添付して提出してください。

必要書類

- ①わな猟狩猟者登録証の写し
- ②補助対象となる講習会受講料領収証の写し
- ③有害鳥獣駆除業務に従事する旨の誓約書

申請先・問い合わせは 農林水産課（☎22-1598）へ

男女共同参画に関する 市民意識調査結果を 公表します

平成24年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果を公表します。

報告書は各支所、公民館、各住民センター窓口に掲載されています。また阿南市ホームページでもご覧になれます。

問い合わせは 男女共同参画室（☎22-7401）へ

全国大会

2013年
10月

「日本女性会議〈男女共同参画〉2013 あなん」

分科会活動の紹介(6)

「DV(ドメスティック・バイオレンス)分科会

『DVのない地域づくり〜私たちの挑戦』

福本尚子さん

セクシュアルハラスメントは徐々に浸透し、男性の意識にも変化がみられるのに、DVは、自分には関係ないと考える人がまだまだ多いのが現状です。身近な対人関係を見直して、性差別や暴力に男性自身が気づくこと、柔軟に考えることで、男性も楽に生きることができそうです。そう気づいた男性を地域に増やすプロジェクト。性差別やDVのない地域づくりを考えるという挑戦です。

「日本女性会議〈男女共同参画〉2013 あなん」の参加者を募集しています

募集要項および参加申込書は、実行委員会事務局（市民会館男女共同参画室分室内）のほか、各住民センター・公民館に置いてあります。大会ボランティアも募集しています。市民の皆さまのご参加をお待ちしています。

申込期限 8月20日(火)

問い合わせは 日本女性会議〈男女共同参画〉2013あなん実行委員会事務局（☎24-3750）へ

人権啓発標語・ポスター および人権作文を募集

同和問題をはじめ、女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障がい者の人権など、さまざまな人権問題の解決をめざす啓発活動の一環として人権啓発標語・ポスターおよび人権作文を募集します。

応募資格 市内に在住・在勤の方、または市内の学校に通学する児童および生徒

応募部門 【小学校】①低学年(1・2年)部門 ②中学年(3・4年)部門 ③高学年(5・6年)部門 ④小学校特別支援学級・阿南支援学校小学部低学年(1・2年)部門 ⑤同中学年(3・4年)部門 ⑥同高学年(5・6年)部門 【中学校】⑦中学校部門 ⑧中学校特別支援学級・阿南支援学校中学部部門 【高等学校】⑨高校・高専部門 ⑩阿南支援学校高等部部門 【一般】⑪市民(P T Aを含む)部門

応募規定 作品は自作、未発表で、ほかに応募していないものとします。また、共同で制作した作品は応募できません。ポスターは、四つ切り画用紙を使用してください。作文は400字詰原稿用紙を使用してください。小学生は3枚程度(低学年は2枚程度)、それ以外の方は4枚程度とします。

募集期間 8月28日(火)必着

審査方法および発表 審査会で最優秀・特選・入選を決定し、最優秀・特選については本人(児童・生徒は学校)に通知します。

表彰等 最優秀および特選に選ばれた方には、人権フェスティバルで開催する表彰式で賞状および賞品を贈呈します。また、人権作文の最優秀作品は表彰式当日に発表していただく予定です。なお、最優秀・特選作品は、市ホームページで紹介するほか、人権フェスティバル等での展示、人権教育・啓発資料や物品等に活用させていただきますので留意のうえ応募ください。

提出先・問い合わせは 人権・男女参画課(☎22-3094)へ

野球のまち阿南

まちかどミュージアム 「野球グッズの展示会」

日時 7月23日(火)～8月18日
(日) 午前10時～午後8時

※月曜日は休館

場所 阿南光のまちステーションプラザ

展示物 第48回東四国国体優勝チーム「すだちクラブ」のユニホーム、映画「モンゴル野球青春記」のパネルなど

問い合わせは 野球のまち推進課(☎22-1297)へ

公共下水道

受益者負担金の納付

平成25年度の納付書は8月上旬に受益者に送付します。納付対象は、分割払いで納付されている方や、平成24年12月または平成25年度から供用開始になった土地で、猶予を受けられていた方などです。

納期 8月・11月・2月

口座振替の手続き 口座振替(分割支払いのみ)を希望される方は、次の金融機関に「口座振替依頼書」を備え付けていますので、7月16日(火)までに手続きしてください。

阿波銀行・徳島銀行・四国銀行・高知銀行・阿南信用金庫・四国労働金庫・阿南農業協同組合・ゆうちょ銀行

問い合わせは 下水道課(☎22-1796)へ

「第12回全国歴史の道会議 徳島県大会」

成功させよう!

遍路道沿いの石造物(その2)

広報あなん5月号の「遍路墓」に続き、今回は「丁石」をご紹介します。

丁石とは、石に目的地までの距離を一丁、二丁、三丁、四丁…といった具合に刻み、1丁(現在の単位で109㍎)おきに建てられた道しるべです。「太龍寺道・いわや道」には半浮彫地蔵が彫られた丁石になっています。作られた時代は江戸時代中期と考えられています。現在は、お地蔵さんとして祭られています。現在、お地蔵さんとして道を歩いてみてはいかがでしょうか。

また、「かも道」

には1㍎ほどの石柱の丁石があります。「かも道」の丁石は南北朝時代(1365年～1367年)に建てられた丁石で四国の遍路道のなかで最も古い石造物になります。「かも道」が四国で最も古い遍路道とされるゆえんはそこにあります。

※「かも道」の丁石は県・市指定文化財になっています。



かも道の丁石



いわや道の丁石

問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

水道部からのお知らせ

●水道メーターの交換

交換予定地区 福井町、津乃峰町、見能林町、宝田町、那賀川町（平島・今津）
交換予定期間 7月～平成26年2月

※実施前に各戸に通知します。

●節水にご協力ください

水は日常生活に欠かすことのできない限りある資源です。

●お問い合わせは 水道部業務課

(☎22-0587)へ

阿南警察署だより

子どもの非行防止にご協力を

いよいよ夏休みが始まります。この時期、子どもが非行に走ることはないよう、地域社会全体で厳しくも温かい目で子どもを見守りましょう。子どもに対し、身の回りには常に自分のことを気にかけている「大人の目」があることを伝えましょう。

●相談電話

ヤングテレホン (☎088-625-8900)
いじめホットライン (☎088-623-7324)
お問い合わせは 阿南警察署 (☎22-0110)へ

阿南 de 愛隊が贈る

恋活イベント参加者 大募集!

第2弾 Baseball Coupling Party ～恋のトライアウト～

日時 7月21日(日) 18:00～ (受付17:00)
※小雨決行で、中止の場合は8月25日(日)に延期
対戦カード 徳島インディゴソックス VS 愛媛マンダリンパイレーツ
場所 JAアグリあなんスタジアム
対象 25歳以上49歳以下の独身男女
定員 男性30人、女性30人
参加費 男性4,000円 女性3,000円(入場料、グッズ・飲食クーポン付)
内容 カップリング投票あり
受付期間 7月12日(金)まで ※定員になり次第締切
申込方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号を、電話または電子メールでお申込みください。



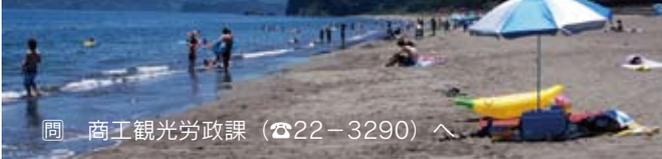
申込み・問い合わせは 徳島インディゴソックス球団
(☎088-679-8915)へ e-mail: t-info@ibj.co.jp

同和問題講演会

日時 7月27日(土) 午後1時20分～3時20分
場所 文化会館1階 ホール
演題 「女性差別撤廃条約と部落女性の課題」
講師 (社)部落解放・人権研究所 啓発企画室長 中田理恵 子さん
※託児あり (要申込み…7月18日(木)まで)
※駐車台数が限られていますので、乗り合わせにご協力ください。
お問い合わせは 人権・男女参画課 (☎22-3094)へ

海水浴シーズン到来!

北の脇海水浴場・淡島海水浴場
海開き 7月1日(月)～8月20日(火)



問 商工観光労政課 (☎22-3290)へ

球場へ行こう!

7月の日程

JAアグリあなんスタジアム

- 四国アイランドリーグplus公式戦 21日(日) 18:00～ 徳島VS愛媛
- 第2回 WinWin! 水素水ドリームカップ 全国ベースボールトーナメント徳島大会 7日(日)・14日(日)・15日(月)・21日(日) 8:30～17:00
- 第17回西日本生涯野球大会 27日(土) 10:00～15:00 28日(日) 9:00～14:00



問い合わせは 野球のまち推進課 (☎22-1297)へ

光のまちステーションプラザ 7月の催し

■展示コーナー 10:00～20:00

※初日は12:00から、最終日は催しによって終了時間が異なります。

- ブチフラワー・たぬき工房 6日(土)まで
- 富岡公民館生涯学習作品展 9日(火)～18日(木)
- 野球関連グッズ展示 23日(火)～8月18日(日)

■体験コーナー参加者募集中

阿波踊り活竹人形作り、星形あんどん作り常時開催中!

問い合わせは 阿南光のまちステーションプラザ (☎24-3141)へ

F M徳島 阿南市PR番組 GO!GO! 阿南市わくわくラジオ

毎週木曜日 16:30～16:50

F M徳島パーソナリティーの近藤公美さんが、阿南市民の横顔を紹介!ラジオを聞いてリスナープレゼントをGETしよう!



7月のゲスト(予定)

- 4日 阿南風景百選夏の風景部門大賞受賞者 松浦 孝さん
- 11日 阿南市KITT賞賛推進会議会長 湯城 豊勝さん
- 18日 阿南市阿波踊り振興連盟会長 二宮 恒雄さん
- 25日 阿南の夏まつり実行委員会 兼松 功さん

問い合わせは 商工観光労政課 (☎22-3290)へ

【お詫びと訂正】 広報あなん5月号に掲載した内容に誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

●吹田文明氏の版画作品名 (P16)

- (誤) 「雨に散りし友に捧ぐⅡ (戦後50年の鎮魂詩)」
- (正) 「南に散りし友に捧ぐⅡ (戦後50年の鎮魂詩)」

●市役所電話番号案内

(誤)	(正)
介護・ながいき課 22-1793	介護・ながいき課 22-1793
〃 22-8064	保険年金課 22-8064
保険年金課 22-1118	〃 22-1118



幸せは人権学習から

新野隣保館長

堀崎 正勝さん

今から15年前の平成10年には、「21世紀は人権の世紀」または「人権と共生の世紀」として、すべての人の人権が尊重され、明るく平和な社会となることを人類共通の願いとしてスタートをしました。そして、そうした社会の一日も早い実現に向けて、阿南市では阿南市人権教育協議会を中心に行政機関や教育関係機関と連携しながら、同問題の解決を基軸に据えて、あらゆる人権課題の解決に向けた取組がされています。

しかしながら、いまだにすべての人の差別意識の払拭には至っていない現状があると思います。けれども、同和教育が徹底していなかった過去の時代に比べると、人の意識は大きく変わってきたと思います。私が高校教師とし

阿南市の花「ひまわり」の花言葉は、「光輝く」です。人権について考え守っていくことが、まさに光り輝く阿南市づくりにつながります。人権教育・啓発コーナー「ひまわり」では、市民の皆様の人権に対する思いを掲載しています。

て現職の時には生徒の就職に関して公正な選考がされず、公務員採用試験についても、一般企業での採用試験や面接試験でも差別選考が極めて当たり前のように行われていました。ちょうど私が進路指導を担当した時に、ある生徒の差別選考事象に遭遇したのをきっかけに、その頃、富岡東高校の中村先生や小松島西高校の藤井先生などが中心になって「就職差別につながる14項目」を作成し、当時の高校校長会や県商工労働部や職業安定所に働きかけて協力してもらい、後に全国に広まっていたことを思い出します。その後、そのことに抵触する企業はほとんど無くなっています。その時の苦労が実を結んだことは今では喜びに変わっています。

また、卒業生の結婚問題についてもうれしい便りももらいましたので紹介します。娘の結婚について反対していたお母さんからの便りです。

「先生お元気でお過ごしでしょうか。

4年前には大変お世話になり、ありがとうございました。あの時は私も『同じ人間なのに』と思いき、差別をしておけないとよくよくわかっており、親類からどういつて反対されるかと私たち両親も反対したのでした。娘に結婚できないと申しましたら、一晩帰ってきませんでした。いつも9時までには帰ってくるのに、あの日は11時が来ても帰ってこないのです、はじめて先方様の男性のお宅へ電話をしましたら、2人で車に乗って出て行つたと言われました。一晩中心配で眠れず朝警察へ知らせるつもりでしたが、朝、先生と一緒に家に帰ってきてくれました。そして先生から、こんこんとお話を聞かされ、私もかわいい娘の幸せのことなら、その時はまだ半信半疑のまま先生に仲人をお願いして、ついに娘の結婚を許しました。あれから4年になります、今のところ娘はとつても大事にしています、幸せな日々を送っています。先月孫も生まれました。結婚を許して本当によかったと思っています。私以上に主人は反対しておりましたのに、今はとつても喜んでおります。先生のおかげだと思っています。あの当時は、娘が被差別部落出身の男性と結婚したとは人に正直にお話しはできませんでした。それはどうしてだつたんだろうと今も考えさせられます。先生はご退職後、隣保館にお勤

めだと聞いておりますが、これからも一日も早く差別の無い社会になって、(みんなに) 幸せな結婚をしていただけるようお祈りしています。ますますお元気で明るい社会づくりに頑張ってくださいませ。ありがとうございました。.....」

お手紙ですから多少省略はしましたが、このお母さんのような理解者が一人でも多くなってくれることを期待しています。

今年徳島県においては、10月11日から13日までの3日間にわたって「日本女性会議(男女共同参画)2013あなん」が阿南市で開催されます。また、11月23日から2日間「第65回全国人権・同和教育研究大会」が徳島市のアステイトくしまを主会場として開催されます。こうした機会をとらえて参加して勉強することが、自らの心の解放につながり、差別の無い明るい社会の実現に結びついていくものと思います。相手の立場に立つて考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感心ができ、深いやさしさの心を持つ人間として成長していくものと思います。

問い合わせは

人権・男女参画課

(☎22-3094) へ





6月定例市議会 市長所信

6月議会が6月7日から24日までの18日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題について、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容は、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみを掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。
また、後日作成される市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することが出来ます。

日本女性会議〈男女共同参画〉2013あなん

ご承知のように、日本女性会議はこれまで人口が数十万人以上の大都市で催されており、10万人にも満たない地方での開催は今回が初めてです。こうしたことから、実行委員会では、第30回の節目となる本大会の成功を願ひ、「いきいきわくわく小さなまちから新たなステージ！」をスローガンとして掲げ、阿南市の元気を全国に発信するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた意義ある大会にしようとして、市民・企業・行政の協働により準備を進めています。

また、介護・防災・食育などをテーマとした9つの分科会につきましても、全国からの参加者が各分野における問題や課題を見つめ、話し合うなかで、解決への糸口を見いだすことができる会となるよう、それぞれの運営委員会において協議を重ねるところです。本大会は、多くの人の心が一つになつて実現したもので、これを契機として、男女共同参画に関する市民意識の

向上と、お互いが支え合う社会づくりの推進が図られることを期待するものです。

遍路道の国史跡追加指定

去る3月27日に、阿波遍路道のうち「鶴林寺道 太龍寺道 いわや道 平等寺道」の約2・75キロメートルが国の史跡に追加指定され、平成22年度の指定分と合わせると、太龍寺周辺の遍路道5・05キロメートルが国史跡となりました。

これらがきっかけとなり、「かも道」は、今や全国から多くの人々が訪れる「名所」となりつつあるなか、地元ボランティアの動きも活発化しており、4月に加茂町の一宿寺と太龍寺を結ぶ「かも道」の全長4・4キロメートルに誘導案内板18基を設置するなど整備を図るとともに、5月には「遍路道」を活用したまちづくりをめざす「加茂谷へんろ道の会」が結成されています。また、本年10月19日と20日に本市で開催される「第12回全国歴史の道会議 徳島県大会」につきましては、5月9日に第1回実行委員会を開催し、「遍

路道を生かした地域の連携」をテーマとしたシンポジウムや、参加者に遍路道の歴史を体感していただくウォーキング大会のコース設定など、準備を進めているところです。

大会には、県内外から約200人の参加を見込んでおり、遍路道を文化財として保護する機運の醸成や、地域の活性化等につながる活用手段などについて、熱い議論が交わされるものと存じています。

本市にとりまして「かも道」は、後世に伝承すべき貴重な財産であることに加え、新たな観光資源として全国から注目されていますので、こうした流れを絶やさぬために、「加茂谷へんろ道の会」との連携を図りながら、その魅力を全国に発信してまいりたいと考えています。

市制施行55周年の記念事業

5月1日に節目を祝う式典を挙行しました。約550人の参加をいただき、吹田文明さんへの名誉市民証の贈呈、また、100歳以上の長寿者および市勢の発展に寄与された方々への表彰な

ど、盛大のうちに式典を終えることができました。その後の火坂雅志さんによる記念講演では、会場全体が阿南の歴史ロマンに包まれ、多くの方からご好評をいただき、また、5月5日には「NHKのど自慢」の公開生放送が行われ、前日の予選会と合わせて延べ約2500人の来場者を得て、大変盛況でした。

5月25日には、本市出身の多彩なゲストをお招きし、「大好きふるさと阿南を語ろう」と題した記念シンポジウムを開催したところですが、ふるさとに対する熱い思いや特性を生かしたまちづくり等について語っていただくなど、有意義なひとときであったと存じています。

今後の記念事業につきましては、「子ども議会」の開催、「市政バス」の運行、「図書館まつり」などを計画しており、より多くの市民の皆さまと市制施行55周年をお祝いするとともに、市民と行政が手を携え、次の節目に向けた新たな一歩を踏み出したいと考えています。なお、来年5月には、55周年記念企画として、ふるさと創作ミュージカル「新開桜」を開催する予定です。

阿南ふるさと大使

本市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍されている方々に、それぞれの活動を通じて阿南市の観光・歴史・文化等のPRをお願いするとともに、助言や提言等をいただくことで本市の新たな魅力の発見や情報発信手段の見直し、強化を図ろうとするものです。

先般、阿南市を応援する熱意に満ちた桑野町在住のプロサーファーの武知実波さん、落語家の笑福亭学光さん、野球評論家の水野雄仁さん、脚本家の旺季志ずかさん、俳人の大高翔さんの5人の方に大使を委嘱し、本市のイメージアップにお力添えをいただくようお願い申し上げます。

イメージアップキャラクターの制作

本年1月上旬から3月上旬にかけて、そのデザインを広く募集したところ、市内外から合計204点の応募をいただきました。

先般、選考委員会を開催し、寄せられた中から優秀作品4点を選び、それらについて、現在、人気投票を実施しているところです。市立の小中学校の全児童生徒に投票をお願いするとともに、市内各公共施設に備え付けた投票用紙での投票、Eメール、郵送での投票などさまざまな手段を用い、できるだけ多くの方に参加していただきたい

と考えています。

今後のスケジュールにつきましては、6月下旬に最優秀作品を決定したのち、着ぐるみの発注に取りかかり、7月から8月にかけてネーミングの募集・決定を行い、10月12日に開催されます「日本女性会議」の全体会において、市民の皆さまをはじめ、全国からの参加者にお披露目したいと考えています。阿南市のPR大使として、各種イベントやキャンペーンに積極的に出向き、本市の特性を捉えた愛くるしい姿で会場の人々を和ませ、幅広い世代に愛されるキャラクターが誕生するものと楽しみにしているところです。

阿南風景百選事業

昨年4月から本年3月までを撮影期間とし、四季の風景や暮らしの情景を捉えた写真を募集したところ、614点の応募がありました。それらについて、審査委員長の木田英之さんが「四季の風景大賞」各1点、審査員の大高翔さんが「特別賞」各1点を選定し、先般、執り行われた表彰式で審査を終えての講評を述べていただきました。

また、大高翔さんには、それぞれの作品から感じ取ったイメージを俳句に詠んでいただき、それを写真と組み合わせることで、見る人の感性に強く訴えかけるものとなっています。大賞、特別賞を含む入選作品100点につきましては、6月7日まで阿南市文化会

館において展示をしました。今後、ホームページへの掲載、市役所ロビーやイベント会場での展示、観光PRボスターの作成など、幅広く活用してまいりたいと考えています。

なお、今回の企画に参加していただきました写真愛好家の皆さま方には、心からお礼を申し上げます。

放置竹林の解消に向けた森林整備対策

徳島県が調査し、公表している平成20年の「森林資源現況表」によると、本市の民有林総数1万4922ヘクタールのうち、828ヘクタールが竹林となっており、前回5年前の調査と比較し198ヘクタール増加しています。タケノコ生産のために肥培管理されている約524ヘクタールを除きますと、304ヘクタールの竹林が放置化され、周辺森林への拡大、隣接農地への獣害の誘発や斜面災害の危険性など、さまざまな弊害を発生させる要因となっています。

本来、森林の機能は、国土の保全はもとより、水源の涵養や生物多様性の保全など、人々が安全・安心に暮らせる多面的な機能を有しており、それを発揮することを使命としています。

しかしながら、森林・林業を支える集落の過疎化や、業者の高齢化による担い手不足、あるいは木材価格の下落、生産物価格の低迷などにより、そ

これらの機能が損なわれつつあり、早急に対策を講じなければならない状況にあります。

このため、本年度から平成27年度までの3年間を森林整備対策の集中期間として捉え、地域の協働によって森林の多面的な機能を発揮させることを目的とする「森林・山村多面的機能発揮対策事業」に取り組み、森林組合やNPO法人など、関係諸団体と連携を図りながら、侵入竹林除去や竹林整備等、放置竹林対策の推進に努めてまいります。

野球のまち推進事業

昨年の8月から9月にかけて本市で撮影されました日本とモンゴルの国交樹立40周年記念作品となる映画「モンゴル野球青春記」が、本年4月に完成し、6月8日の那賀川社会福祉会館を皮切りに、市内3カ所のほか、徳島市の徳島ユーフォーテールブルシネマにおいても上映されることになっています。非常に感動的な作品に仕上がっており、また、市民の方もエキストラとして大勢出演されていますので、ぜひご覧いただきたいと存じます。

なお、映画の完成に伴い、7月22日には、本市から報道機関を含めた関係者20人がモンゴルを訪問し、映画の特別鑑賞会や野球教室などにおいて親睦を図り、交流を深めてまいります。

長年の功績 栄えある受章

おめでどうございます



春の叙勲

平成25年春の叙勲受章者が発表され、阿南市では次の方々が受章されました。

(発表順に掲載)

旭日小綬章



近藤 治郎さん
中大野町(73歳)

近藤さんは、昭和48年11月に阿南市議会議員に初当選して以来、32年の長きにわたり在職され、各常任委員会、特別委員会の委員長、議会選出の監査委員、議長などの要職を歴任され、平成13年には藍

瑞宝小綬章



井谷 義昭さん
羽ノ浦町(78歳)

綬褒章を受章されました。市民の福祉向上、教育文化の発展、産業経済の伸展等、市政各般にわたり地方自治の発展に尽力されました。

井谷さんは、昭和42年4月から阿南工業高等専門学校講師、助教、教授、名誉教授として保健学、体育学に精励・研鑽されました。

また、徳島県サッカー協会理事長として競技力向上に尽力され、同校サッカー部を全国高専大会優勝に導きました。

瑞宝双光章



富永 康弘さん
羽ノ浦町(65歳)

Jリーグでは、試合を管理する最高責任者のマッチコミッサーを務められました。

富永さんは、昭和42年1月に羽ノ浦町消防団に入団され、平成2年から16年間羽ノ浦町消防団副団長、平成17年に羽ノ浦町消防団団長、平成18年からは阿南市消防団副団長を歴任されるなど、42年余りの長きにわたり、献身的に消防団活動に取り組み、安心安全なまちづくり尽力されました。

危険業務従事者叙勲

第20回危険業務従事者叙勲が発表され、次の方々が受章されました。

(発表順に掲載)

瑞宝双光章



高見 紀久雄さん
羽ノ浦町(61歳)

高見さんは、昭和45年3月に海上自衛隊に入隊されて以来、約36年の長きにわたり、誠実かつ積極的に職務を遂行されました。

特に、ヘリコプターの整備では豊富な経験と優れた知識、技能を有され、航空安全の確保や後輩の育成に尽力されました。

瑞宝単光章



小笠原 正治さん
羽ノ浦町(64歳)

に小松島海上保安部巡視船の乗組員を拝命されて以来、33年の長きにわたり、海上保安官としての業務に精勤されました。

特に、海難船舶の救助や遭反船の取り締まりなど、海上の安全確保と治安維持に尽力されました。

瑞宝単光章



井村 仁憲さん
椿町(65歳)

小笠原さんは、昭和46年に阿南市消防吏員を拝命されて以来、38年の長きにわたり、常に水災等、災害はもとより常備消防の広域化、消防力の拡充等の事業に率先垂範して先頭に立ち消防任務の遂行に尽力されました。郷土愛護と公共の福祉のため、地域住民の生命と財産を守るべく消防活動一筋に尽くされた功績が認められました。

井村さんは、昭和46年9月



文部科学大臣賞



桑村 春美さん
横見町(81歳)

桑村さんは、現在徳島県日本鶏保存会会長として務められ、60年の長きにわたり、日本鶏の普及や発展に貢献されています。第25回全国日本鶏品評会では、天然記念物の小軍鶏(赤笹)を出品して総合優勝され、その功績が認められました。

法務大臣表彰



浅野 雄一郎さん
才見町(65歳)

浅野さんは、昭和63年に保護司に委嘱されて以来25年余りの長きにわたり、地域の更生保護活動に尽力されました。常に温かい人柄で人間味あふれる指導により犯罪者の改善更生を助け、犯罪予防活動や更生保護思想の啓発に貢献されました。

県 藍 青 賞

スポーツや学術、文化活動などで優れた成績を挙げた児童や生徒、団体をたたえる賞です。阿南市では次の方(団体)が受賞されました。

■運動競技

【グループ・団体】

阿南中学校女子テニス部

【個人】

居川汐里さん(陸上・生光学園高等学校)

第47回 阿南市教育功労者表彰

■学校教育

栗飯原 学・松原恵子・森本マツ子・谷口弘子・前原達三・服部千鶴・福岡重和・出口美津子・西野直美・園田美穂・岩瀬良子・福井秀子・棚橋 幸・大西佳代・坂東真知子・橋本久子・羽坂千鶴・酒井晴美・庄野悦子・村田美鈴・堺 佳子・向島知代子・松崎陽子・青木典代・北島美智子・鎌田奈津・田村美穂・武田奈保美・川田美智子・阿南中学校女子テニス部

■社会教育

福田重徳・辻 三郎・古山 茂・小濱重幸・仁木利昭・山

口恵子・山本 健

■その他

古川良夫・土肥幹也

■寄附

廣浦鋳業株式会社橋鋳業所
廣浦光紀 (敬称略)

第47回 阿南市体育功労者表彰

体育功労者

谷本稔恵・上原広幸・中田泰之・石川 稔・篠岡 香・原田一郎・住友久夫・松本高志・松本隆茂・三宮利子・田中 勲・村田敬之・近藤治郎・日下美代・新川ヨシ子・林 雅広

体育優秀者・団体

大野体育協会バレーボール部・阿南中学校女子テニス部・阿南工業高等専門学校ソフトテニス部・阿南工業高等専門学校テニス部・久米加代子・谷 三用・前川壽美・紅露竹彦・森 正記・北本恵里奈・戸井健治・安村泰輝・小原宙久・鈴江篤志・増金耕太・大岡勇貴・篠原慎吾・松田浩宗・橋本 成・井戸千歳・池内莉紗・川西早穂

体育奨励賞

スポーツ少年団剣道阿南市

チーム・桑野シルバータイガ
リス・加茂谷白龍・阿南JAC

阿南中学校女子駅伝部・阿南中学校男子ソフトテニス部・阿南第一中学校男子剣道部・阿南第一中学校女子剣道部・阿南第一中学校相撲部・羽ノ浦中学校新体操部・那賀川中学校男子剣道部・那賀川中学校女子剣道部・湯浅澁平・山本尚永・延口美咲・林 理紗・湯浅詩音・西谷優花・小島健太郎・立石迅一郎・粟田琉聖・篠原 由・仁木夏鈴・伊丹優花・阿井佳乃・西尾妃夏乃・安田七彩・喜田萌衣・前川瞬希・南原終琉・鎌田有希・森吉瑛里子・森吉瑠璃子・横手美緒・戸川ひろの・滝根風香・岡久志都・生田琉海・山本智丈・谷口和人・岩田真弥・栗飯原麻衣・竹内翔雅・岩浅好香・真重幹也・山本裕太・高見宥妃・亀井早苗・長尾拓美・荒川凜果・若木健太郎・前川和輝・井上勇太・本田 淳・松田華奈・原田一葉・羽坂瑞紀・山崎 舞・浅田 幸・米田 航・米田龍太郎・川口優香・吉井隼也・島野朱理・藤田もも夏・松本高史・原田万葉・山本 舜・亀尾美緒・三辻雅士・宮崎大智 (敬称略)

徳島県表彰

■個人表彰

阿利茂昭さん(福井町)

多年にわたり阿南漁業協同組合代表理事組合長等として、水産業の発展に貢献されました。

生原 寛さん(那賀川町)

多年にわたり徳島県指定自動車教習所協会の役員として、交通安全思想の高揚に貢献されました。

組橋 正人さん(羽ノ浦町)

多年にわたり徳島県ホッケー協会会長等として、スポー

ツの振興に貢献されました。

曾谷眞澄さん(那賀川町)

多年にわたり阿南市那賀川消費者協会会長等として、消費者問題に取り組み、県民生活の向上に貢献されました。

白 聖偉さん(新野町)

多年にわたり徳島県納税貯蓄組合連合会の役員等として、納税思想の高揚に貢献されました。

平尾 清さん(椿町)

多年にわたり阿南市傷痍軍人会会長等として、戦傷病者の福祉の向上に貢献されました。



減少する島の宝を守る イシマササユリの生育調査と移植活動



伊島の固有種イシマササユリの生育調査が6月4日に行われ、伊島中学校生徒会や地域住民約30人が、島内4カ所の生息地で開花状況や個体数を調べました。

生育状態は良好でしたが、開花は例年より少し早め。一部の生息地で著しく減少していたため、全体では1,712本（昨年比△92本）と、昨年に比べ微減という結果になりました。生息地の一つ、カベヘラを調査した伊島老人会会長の神野弘子さん（85歳）は、「イシマササユリはかれんで甘い香りが特徴で、山中で静かに咲くその姿が愛らしく、島の宝として大切に守られています。」と誇らしげに花を愛でていました。6日には、新野高校生によるパイオ球根の移植活動が行われました。

笑いあり、感動ありの2時間 「週末よしもと」が阿南にやって来た！



今が旬の人気芸人たちが全国各地を訪れるお笑いツアー「週末よしもと・よしもとが阿南にやって来るよ！」が5月26日に市民会館で開催され、人気芸人たちによる漫才や新喜劇が上演されました。

前半に行われた漫才ショーには、5組の芸人が出演。関西と関東とのリアクションの違いをネタにしたボケとツッコミの応酬などが繰り広げられ、続いて行われた新喜劇では、茂造じいさんこと辻本茂雄さんの暴力的なツッコミが随所にさく裂。会場は笑い一色に包まれました。

親子3人で訪れた島村佳歩さん（10歳・徳島市）は、「テレビで見るのとは違って迫力があり、とてもおもしろかったです。」と笑顔で話していました。

蒲生田海岸にアカウミガメが初上陸！ 産卵も確認



県内有数のアカウミガメ産卵地・蒲生田海岸で、5月28日にアカウミガメの上陸・産卵が確認されました。初上陸は、昨年に比べ3日遅れ（一昨年比6日遅れ）で、2頭の上陸と1頭の産卵が確認されました。

発見したのは、ウミガメ観察員の棚橋コズエさん（76歳・椿町）。午前5時頃、日課の上陸調査中に波打ち際にいるアカウミガメを見つけました。「体長1メートルほどの大型のアカウミガメでした。5月末までに上陸してほしいと思っていたのでひと安心です。今年もたくさん上陸してほしいです。」と棚橋さん。いよいよ始まった産卵シーズンに胸を躍らせていました。

蒲生田海岸での調査は、今年で60年目を迎えました。

サンアリーナ温水プール 市民に親しまれ利用者50万人に到達



健康増進や水泳競技力向上など、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方に親しまれているサンアリーナ温水プールの利用者が、開館からおよそ9年で50万人に到達し、6月15日、記念セレモニーが行われました。

記念すべき50万人目となったのは、3年前から週に4回ほどのペースでプールに通っている福原 正さん（63歳・桑野町）。50万人目になったことについて「夢みたいです。水泳は健康維持のために続けてきましたが、これを機に、さらに上手に泳げるようになりたいです。」と話していました。福原さんには、駆け付けた岩浅市長から花束と記念品が贈られました。

映画「モンゴル野球青春記」の上映始まる 市内先行上映は7月7日が最終日



日本とモンゴルの国交樹立40周年記念映画「モンゴル野球青春記」の先行上映が6月8日から始まり、4日間で1,085人が映画を鑑賞しました。

舞台挨拶した武 正晴監督は、「この映画を全国に広めていきたいので、フェイスブックなどで広くPRしてほしい。」とあいさつ。上映実行委員長の小泉隆一さん(84歳・那賀川町)は、「モンゴルにまいた“野球”という種が、映画を通して成長している姿をみることができます。感動的な素晴らしい映画です。多くの方にご覧になっていただきたいです。」と話していました。

阿南市内での先行上映は、7月7日(日)が最終日です。
問い合わせは 同上映実行委員事務局(☎22-1297)へ

蒲生田海岸を美しく 300人のボランティアが清掃活動に汗



6月2日、蒲生田海岸で清掃活動が行われ、およそ300人のボランティアが、海岸に打ち上げられた海藻や流木、漂着ごみを回収しました。

この活動は、椿地域一帯の環境保護活動などに取り組むK I T T賞賛推進会議などの呼びかけで行われたもので、今年で2回目。参加者は、ゴミ袋を手に分けしながらごみを拾い集め、汚れたペットボトルは一つひとつ丁寧に洗浄しました。同協議会海亀部会の鎌田 武さん(84歳・桑野町)は、「皆さんの温かい心が蒲生田の海に向けられていることをうれしく思います。」と参加者の労をねぎらっていました。作業は午前9時から約2時間行われ、軽トラック5台分のごみを回収しました。

水防技術講習会に118人が参加 命をつなぐロープワークなどを学ぶ



水防技術を習得して災害時に役立ててもらおうと、国交省那賀川河川事務所による水防技術講習会が桑野川河川防災ステーションで行われ、消防団員や市内の災害応急復旧協定締結業者など118人が受講しました。

四国防災エキスパートの山本邦一さん(74歳)は、最近の水防活動における技術的課題として「少子高齢化サラリーマン化等による地域防災力の低下」「水防資・器材の調達」「水防工法等の継承」を取り上げ、水防技術習得の大切さを訴えました。実技講習では、人命救助に役立つロープワークや土のう作り、各種水防工法の技術指導が行われ、参加者は、防災エキスパートの指導に熱心に耳を傾けながら技術の習得に努めていました。

新野町に「ヘンロ小屋」が完成 お遍路さんを癒す地域のシンボルタワー



太龍寺から平等寺に向かう新野町西光寺の遍路道沿いに、市内で3棟目となる「ヘンロ小屋(名称:おおね)」が完成し、6月15日に落成式が行われました。

取り組んだのは新野町西光寺と岡花地区の有志の皆さん。「四国八十八ヶ所ヘンロ小屋プロジェクト」を推進する鎌田 武さん(84歳・桑野町)の働きかけで実現しました。設計は、建築家でもある近畿大学教授の歌一洋さん(65歳・大阪市在住)が担当し、建築の大部分は地元有志がボランティアで施工しました。世話人の鶴羽正喜さん(79歳)は、「小屋は地域のシンボル。お遍路さんには足を休めていただき、里山の景観を楽しんでほしいです。」と、完成の喜びを分かち合っていました。

■「第6回コスモホール音楽祭」 出演者募集！

日時 ①邦楽の部 9月7日(土) 13:00開演予定
②洋楽の部 9月8日(日) 13:00開演予定
場所 コスモホール(情報文化センター)
出演者 阿南市在住の18歳以上の方
(グループは阿南市民を1人以上含む)
演奏方法 原則として生演奏
演奏形態 独奏、重奏、合奏、独唱、重唱、合唱
入場料・参加料 無料
申込方法 申込書(情報文化センター、文化会館、市民会館、各住民センター、市立図書館等に備え付け)を情報文化センターへ提出してください。(郵送可)
申込締切日 8月11日(日)必着
問い合わせ 情報文化センター(☎44-5000)へ

■ 阿南市制施行55周年記念企画 ふるさと創作ミュージカル『新開桜』 劇団員募集！

公演内容

牛岐城趾に400年以上咲き続け、阿南のさまざまな出来事を見守ってきた新開桜をテーマに、命の大切さと尊さを伝える感動のミュージカルです。

開催日 平成26年5月5日(例)、6日(例)

場所 夢ホール(文化会館)

募集資格 小学生以上で性別・経験は問いません。

練習日程 平成25年10月から土・日曜日を中心に歌・ダンス・演技の基本練習から行います。
※練習は夜間に及ぶこともあります。

募集期間 7月1日(月)～8月25日(日)

募集方法 申込書(文化会館備え付け)を提出してください。

募集人数 50人程度

参加費用 月額2,000円(10月～平成26年4月)
※申込みをいただいた方を対象に、説明会を開催します。説明会の日程は、後日送付します。

申込み・問い合わせ

文化振興課劇団員募集係(☎22-1798)へ



■ あなんサマーコンサート 「陸上自衛隊第14音楽隊演奏会」

子どもから大人まで幅広く楽しめるアニメソング・クラシック・演歌などをご堪能ください。

日時 7月20日(土) 14:00開演予定

場所 コスモホール(情報文化センター)

入場料 無料(入場整理券が必要です)



問い合わせ 情報文化センター(☎44-5000)へ

■ ベンチャーズ ジャパン・ツアー 2013

1959年結成以来、ダイヤモンド・ヘッド～パイプラインの『テケテケ…♪』のサウンドで空前のエレキブームを巻き起こしたベンチャーズの「ジャパンツアー2013」をお楽しみください。



日時 7月31日(水) 18:30開演予定

場所 市民会館 大ホール

入場料 5,000円(全席指定)

※未就学児、ひざ上1人まで無料

販売場所 市民会館、デューク高松

問い合わせ 市民会館(☎22-7000)へ

おもしろ実験(無料)
夏休み期間中の平日は、午後2時20分～、土・日曜日は午前11時～、午後2時20分～実施します。

サマーサイエンススクール
(有料・要申込)
3日間かけて、実験や工作、昆虫や植物の標本作りを行います。夏休みの宿題にぴったりです。
日時 7月27日(土)、28日(日)、8月18日(日) 午前9時～午後4時
対象 3日間とも参加できる小学3年生～中学生
定員 50人
参加料 1人2千円
参加方法 市内小中学校を通じて配布される所定の申込書、またはホームページからお申し込みください。



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯 浅 良 幸

国会議事堂・阿南産大理石

国会議事堂は大正九（一九二〇）年起工、昭和十一（一九三六）年完成した。鉄筋コンクリートの耐震・耐火建築で、外装は国産の花こう岩内装材はすべて国産の大理石、蛇紋岩、珊瑚石灰岩などを使用した。

大理石は、ほとんど方解石のみからなる緻密な粒状の集合体である。大理石は、均質で大塊が得やすく、しかも美しく加工しやすいため石材に使用された。一方、商業的には工芸品・美術品用に使われた石灰岩及び類似岩石を大理石と総称している。

国会議事堂に使用された大理石の産地は第一位が山口県八カ所、次いで徳島県七カ所・七種類となっている。しかし、量的には本県産のものが最も多い。

阿南市産の大理石

阿瀬比町阿利田産「時鳥」

淡灰色ミクライト（石灰泥）部分的にイントラクラスト（同質の炭酸塩砕屑）を含み、その質は淡黄色ドロマイト質である。

議事堂では、御休所入り口の額縁、御休所前広場の壁、中央階段左右の壁、三階中央広間・御休所に面した欄干などに使われている。

現在、阿南市指定文化財に内定している。

加茂町黒河―阿瀬比町阿利田産「淡雪」

淡灰色ミクライト質で白色の方解石と脈状あるいは綿雲状に含む。

御休所前広場の幅木、衆参両院議場回りの幅木、二階中庭回り通路の幅木（参議院東側通路の一部を除く）中央広間（二、三階）の柱の台座に使用。

桑野町大産「加茂更紗」

淡灰色ミクライト質の石灰岩で長径数一〇センチの不規則な網目状に緑色凝灰岩が埋まっている。まれに六射サンゴや赤色チャート破片を含む。

議事堂では中央玄関外側の壁、中央広間に上がる階段の両縁、衆参両

院議員控室入り口（二階）の額縁、二階通路の窓棧に使われている。採掘跡は大地旧道近くである。しかし、石の散乱している狭い道を通らねばならないので注意して歩かねばならない。

阿南市指定文化財史跡。

津乃峰町東分産「答島」（こたじま）

議事堂の石材はホンクチ（本口）と「答島」の石材は同質で、淡灰色ミクライトでクモの巣状に黒色の破断劈開が一センチ以下の間隔で発達する。

衆参両院の傍聴人控室入り口、三階廊下の幅木等に使われている。

阿南市指定文化財史跡。

宝田町井関産「新淡雪」

褐灰色ミクライト質。議事堂中央広間床のモザイクの一部等に使用されている。

徳島大学教授・石田啓祐氏、阿南市文化財保護審議会委員・東明省三氏より助言をいただきました。
※参考「阿南市史」第五巻



「時鳥」採掘跡

天の川をめぐる

星団特集（有料・要申込）

この時期は、天の川がよく見えます。天の川の中の星団たちを大型望遠鏡で観察してみませんか。

日時 7月26日（金）午後7時～9時
対象 小学生以上

定員 30人

参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円

参加方法 事前に電話またはホームページからお申し込みください。

夏休み星空教室（有料・要申込）

星座早見を作り、夏の大三角を観察します。小学4年で学習する内容に合わせて行います。

日時 8月2日（金）午後7時～9時30分

対象 小学3年～6年生

定員 親子20組（40人）

参加料 200円（保護者は無料）

参加方法 事前に電話またはホームページからお申し込みください。

夜間天体観望会（有料・要申込）

大型天体望遠鏡を使ってその時期に見える天体をご覧いただきます。

日時 毎週土曜日の午後7時～、8時～、9時～（ただし悪天候時は中止）

参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円

参加方法 事前に電話またはホームページからお申し込みください。

問い合わせは 科学センター

（☎42-1600）へ

7月の休館日

1日（月）、8日（月）、16日（火）、22日（月）、29日（月）



天地自然の理に従って

天地自然の理に従って生きるとは、どこまでも調和をめざして、不断に変化生長していくことです。

調和というのは、すべての存在が生きる道のこと、誰かが得をすれば誰かが損をするとか、人間の都合で他の生命が犠牲になったりするものではありません。

変化生長するというのは、簡単に言うと、経験から学ぶことです。例えば、福島第一原子力発電所における原発事故は、日本にとって、その経済的損失、健康被害、そして環境破壊は、今後長期にわたって大きな影響を残します。それでも私たちは前に進んでいかねばなり



那賀川 杉本 博さん

ません。ところが、政治家をはじめ、多くの国民は話題にすることすら避けています。何かといえば「問題ありません」としか言わない。まるで変化生長することを拒否して思考停止状態に陥っているかのようです。私たちは病になれば、考え方を改め、生活スタイルを変化させます。それが出来なければ自滅です。

日本再生の道は、放射能には閾値が無く、どこまでも危険であるという事実を受け止めて、今までの経済優先的考えを改め、次の世代のために全力で対策をするように変化しなくてはなりません。それが天地自然の理に従うということであり、大切な私たちの子どもを守ることにのみならず、日本再生への唯一の道でもあります。

次は、羽ノ浦町の三馬徳子さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

市長賞

水口 明美
ふんわりと一本桜の影浮かべ
水張りし田が花曇りする

大会賞

小畑 定弘
燃えた日のそんな昔を自分史
の柀目にペンが追いつめてゆく

文化振興賞

西崎まき子
「TPP」の如何になるとも
田植待つ苗の逞し煌めく葉先

互選賞

金本ひろみ
笛をつつみてくれし女の手の
節の太さよ雨の朝市

互選賞

井上 正恵
寝て過ごす君のパジャマの格
子柄春のおどりがそよ風に舞ふ

入選

吉形 和恵
雲の波に見えかくれして月の
舟夢の半ばの続きを乗せて

入選

島尾 妙
はる あんな静かな色になり
たいと花片の影なぞつている

中学生短歌のポスト入選歌

原田 万葉

苦しみをチャンスに変えて踏
んぼうろう昨日の自分が見守つ
てるよ

高鶴 真永
人生の岐路に立つ日がやって
来る十五の春を咲かせてみせ
る

宮本 佳奈

ドアの外ぴたり耳をくつつ
けてぬすみぎきする家庭訪問
花が咲き新人生のまぶしさに

古内 里奈

「初心忘れじ」我が身に誓う

藤江 真子

春風が桜の花びら散らしてく
桜も人も旅立つていく

白 夕華

卒業式別れを告げて見送った
その背中には希望が溢れる

宮本 真歩

新しい門出を祝う今日の日に
降り注ぐよ桜の雨が

八木 邦広

春になり視野一面の桜かなこ
れはまさしく千本桜

俳句

阿南市俳句連合会選

鎌矢美代女

母の日の一言添えし花言葉

田村 清朔

若葉雨砂防工事に川濁り

西岡 侃

緑摘む今日も狭庭に梯子かけ

三好美代子

聖五月森羅万象動きをり

近藤 匡恵
走り根の雁字搦めを地虫出づ

中野 郁

無人駅縦横無尽夏燕

萩原 陽子

雨上がり山踊り出る若葉風

野中 久子

ここで生く早苗覚悟の真白き

宮崎 三千代

網小屋は猫のすみかよ浜昼顔

奥田 久女

そら豆の青き匂いを剥きにけ

り

川柳

阿南川柳会
高木旬笑選

似合っても似合わなくてもピ
ンク系

田上 鶴子

根性を据えて脂肪が居候

武田 敏子

海よりも深い藍染め娘のマフ
ラー

鈴木レイ子

脳のしわ減って増える顔の
皺

林 満子

雲海を眺めて登る神の山

萩野ひとみ

阿南市立図書館だより

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
阿南図書館 9:00~18:00 土日は17:00まで	休					☆	休			★			☆	休	休						☆	休			★		☆	休	休		
那賀川図書館 10:00~18:00	休					◎	☆	休				◆	◎	☆	休	休					◎	休					◎	☆	休	休	
羽ノ浦図書館 10:00~18:00	休					☆	休						☆	休	休						☆	休					☆	休	休		

(カレンダー中のマーク 休…休館日 ☆…おはなし会 ★…びよちゃんくらぶ ◎…中学生によるピアノ演奏 ◆阿波公方の苑美化作業)

阿南図書館 ☎ 23-2020 FAX 23-6814

☆おはなしひろば・ひまわり主催
(毎週日曜日) 14:00 ~ 15:00

★びよちゃんくらぶ
赤ちゃん(0~3歳)のためのおはなし会
(第2・第4木曜日) 10:30 ~ 11:00

那賀川図書館 ☎ 42-3111 FAX 42-3299

☆おはなし会・おはなしのポケット主催
(毎週日曜日) 11:00~

◎中学生によるピアノ演奏
(毎週土曜日) 10:00~

◆阿波公方の苑(図書館前庭)美化作業
13日(土) 8:30 ~ 10:00
※雨天の場合は21日(日)に延期します。

羽ノ浦図書館 ☎ 44-2100 FAX 44-2099

☆おはなし会・こすもすおはなし会主催
(毎週土曜日) 14:00~

那賀川図書館 発

7月のイベント

入場無料
申込不要

○親子で楽しむ人形劇
日時 7月21日(日) 14:00~15:00
内容 人形劇「あかずきんちゃん」ほか

○親と子の読書感想文教室
日時 7月27日(土) 10:30~12:00
対象 小学生とその保護者
講師 小倉 泰夫さん(元県学校図書館協議会副会長)
※筆記用具をお持ちください。

夏休み期間中の特別貸し出し図書について

(7月2日(火)~8月29日(休)まで)
読書感想文課題図書・夏休みの宿題に関する本は、各図書館の特別コーナーにあります。貸し出し中の本は予約できます。

	貸出冊数	貸出期間	予約できる冊数
課題図書 (小学校~高校)	1人1冊まで (3館あわせて)	1週間 (延長不可)	1人1冊まで (3館あわせて)
自由研究・工作などの宿題用図書	1人3冊まで (3館あわせて)	1週間 (延長不可)	1人3冊まで (3館あわせて)



移動図書館車「ひまわり号」7月の巡回日程



問い合わせは 那賀川図書館 (☎42-3111) へ

巡回日	巡回場所	時間
4日(木)	椿泊漁協前	14:30~15:00
5日(金)	桑野コミュニティセンター前	14:30~15:00
11日(木)	新野公民館前	14:00~14:30
	見能林公民館前	15:30~16:00
12日(金)	長生公民館前	11:00~11:30
	上中分館前	14:00~14:30
17日(水)	加茂谷公民館前	14:30~15:00

巡回日	巡回場所	時間
18日(木)	山口分館前	14:30~15:00
	大湊分館前	15:30~16:00
19日(金)	老人ホーム福寿荘前	10:30~11:00
	中央病院阿南荘前	13:30~14:00
25日(木)	橘防災公園入口	13:30~14:00
	橘団地前	14:30~15:00
	福井公民館前	16:00~16:30

※雨天の場合は日程を変更することがあります。



スタジオMパート2 第23回ジャズダンス公演

ジャズやミュージカルなど幅広いジャンルをこなす、子どもから大人までパワー全開のステージをお楽しみください。

日時 7月21日(日)
13:30開場 (14:00開演)
場所 市民会館 大ホール
入場料 A席1,000円、B席500円
問 スタジオMパート2 井利元
(☎22-3169)へ



西部公園七夕まつり

仙台七夕飾りと阿波踊りで楽しい1日をお過ごしください。

日時 7月14日(日) 10:00～
※雨天の場合は15日(祝)に順延
場所 阿南西部公園 (中大野町)
内容 オープニングショー (龍神太鼓)、阿波踊り、マジックショー、ビンゴゲーム、軽食コーナーほか
問 大野公民館 (☎22-1564) へ



第2回古事記出雲
シンポジウム

日本文化の波は 阿波・阿南から

～古代出雲「長の国
(旧那賀郡)」の今昔を語る～

日時 7月7日(日) 10:00～16:00
場所 商工業振興センター2階

内容

第1部 10:00～▶阿波古事記会員研究発表
第2部 13:00～▶基調講演：鹿服の復活－大正からの鹿服－(御衣御殿人 三木信夫さん) ▶特別講演：天照大御神と天香具山(天香久山神社 宮司 造田哲也さん)
※入場無料。

問 阿南商工会議所 (☎22-2301) へ

まっこうほう まこと 真向法体操で真の健康に!



【阿南真向会富岡教室】

日時 毎月第2火曜日 9:30～10:30
18:00～19:00
毎月第2水曜日 19:00～20:00

場所 富岡公民館
問 石澤 (☎23-3310) へ

【阿南真向会見能林教室】

日時 毎月第3火曜日 18:00～19:00
場所 見能林公民館
問 杉本 (☎22-5140) へ

【阿南真向会憩教室】

日時 毎週土曜日 9:30～11:00
場所 富岡老人憩いの家
問 西田 (☎090-6289-3031) へ



家庭でひまわりの花を咲かせよう! ひまわりのアクリルたわし講習会 参加者募集

市の花“ひまわり”のアクリルたわしをみんなで作ってみませんか。

日時 7月10日(水) 13:00～16:00
場所 桑野公民館
参加費 200円 (材料代)
持参物 5号かぎ針、はさみ
定員 15人
問 あすなるひまわり会 松橋
(☎090-9558-9123) へ

那賀川の日 イベント 参加者募集



那賀川の日 (8月6日) に合わせ、那賀川上流域にてイベントを開催します。

対象 那賀川流域の小学5、6年生
(応募多数の場合は抽選)

日時 8月6日(火) 7:30出発予定

ルート 阿南市をバスで出発し、那賀町へ
内容 水生生物調査、水質調査、ダム見学・工場見学など

費用 300円程度 (保険代として)

※申込方法等くわしくはホームページをご覧ください。

問 那賀川河川事務所 調査課
(☎22-6562) へ

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>

国家公務員採用試験の日程

採用試験の日程のうち、7月から受付する試験を掲載しています。

高卒者試験

試験名	受付期間	第1次試験日
刑務官	●インターネット 7月23日(火) ～8月1日(木) ●郵送または持参 7月23日(火) ～31日(水)	9月 22日(日)
海上保安 学校学生		9月 29日(日)
皇宮護衛官 (高卒程度試験)		
入国警備官		
航空保安 大学校学生		

※くわしくは、お問い合わせください。

問 人事院四国事務局第二課試験係
(☎087-831-4765) へ

阿南高専公開講座

●レーザでつくってあそぼう、 どうぶつしょうぎ!!

対象 小学1～6年生 (保護者同伴)
日時 7月28日(日) 9:00～12:00
場所 阿南高専実験実習工場
受講料 無料 (傷害保険料必要)
定員 6人 (定員になり次第締切)
申込期間 7月1日(月)～5日(金)

●ザリガニロボットを作って遊ぼう

対象 小学4～6年生 (保護者同伴)
日時 8月10日(土) 10:00～15:00
場所 阿南高専物理実験室
受講料 無料 (傷害保険料必要)
定員 10人 (定員になり次第締切)
申込期間 7月1日(月)～5日(金)

問 阿南工業高等専門学校

総務課企画情報係 (☎23-7215) へ

●英語発音入門

対象 中学生以上・一般の方
日時 9月7日(土) 10:00～15:00
場所 阿南高専専攻科棟3階 講義室1
受講料 5,400円 (テキスト代含む)
定員 10人 (定員になり次第締切)
申込期間 7月22日(月)～26日(金)

●家庭にアクセスポイントを設置しよう

対象 中学生以上の方 (保護者同伴可)
日時 9月7日(土) 13:00～17:00
場所 阿南高専電算第2演習室
受講料 5,400円 (テキスト代含む)
定員 10人 (定員になり次第締切)
申込期間 7月22日(月)～26日(金)

〈特別企画〉
**夢ホール
 ホワイエ
 コンサート**



開催日 7月22日(月) 場所 夢ホール
●メキシコ・マヤの音楽 14:00~14:45
 出演 サクツェヴル
 入場料 500円 (ワンドリンク付き)
仲良しチケット割引 2人以上20%割引、
 5人以上40%割引 (前売りのみ)
●マヤの文化と音楽
~サクツェヴルを囲んで~ 19:00~20:30
 参加費 一般1,000円 学生500円
 (ワンドリンク付き)
申込方法 電話または電子メール
 〇 NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん (☎23-5599) へ
 メールアドレス etonne@stannet.ne.jp

**緑のカーテン
 コンクール開催**



節電の夏がやってきました。緑のカーテンで節電に取り組んでみませんか。「ゴーヤ」「公方百葉」「アサガオ」など種類は問いません。多数ご応募ください。
対象 市内在住の方
申込方法 荒井まで (☎42-0011)
申込締切日 7月15日(月)
審査日 7月末頃
 ※優秀作品には賞品を進呈。参加賞あり。
 ※希望者には公方百葉の苗を進呈。
 〇 NPO法人やっつらうー21
 石川 (☎42-0140) へ

**夏のファミリー
 映画会
 「ひまわりと子犬の七日間」**



巨匠・山田洋次監督の想いを受け継ぐ女性監督が贈る、深くやさしい愛の物語。
日時 7月28日(日) ①10:30~ ②14:00~
場所 文化会館 (夢ホール)
入場料 チラシ割引・会員 800円
 一般 1,000円 (当日)
 (未就学児は、大人同伴で無料)
 ※託児あり 1週間前までに要予約
 〇 あなんで映画をみよう会 阿部
 (☎090-2788-5465) へ

**陸上自衛隊徳島駐屯地
 夏休みちびっ子大会**

日時 8月28日(水) 8:30~16:30
 (荒天時は中止)
場所 陸上自衛隊徳島駐屯地
内容 駐屯地における野外活動 (施設・装備品見学・体験搭乗・飯ごう炊さん等)
参加費 500円 (昼食代等)
対象 阿南市、那賀郡、海部郡在住の小学3~6年生 (30人)
申込方法 はがきに住所、氏名、学校名、学年、連絡先を記入し徳島駐屯地まで郵送してください。申込み多数の場合は抽選となります。
申込締切日 7月19日(金) (当日消印有効)
 〇 〒779-1116那賀川町小延413番地1
 陸上自衛隊徳島駐屯地 司令職務班
 広報係 (☎42-0991) へ

**初心者向け
 サーフィンの
 実技セミナー**



日程
 ①7月11日(水) 19:00~21:00
 「サーフィンの基礎知識と実技説明会」
 (ひまわり会館)
 ②7月14日(日) 9:00~14:00
 「サーフィン実技・ビーチヨガ」
 (阿南辰巳海岸)
対象 一般、高校生以上の学生
定員 5人 (要予約)
参加費 5,000円 (保険、用具レンタル等)
申込締切日 7月10日(水)
 〇 アウトドアエンジョイサポータークラブ
 戸川 (☎090-7624-1515) へ

**県立南部テクノスクール
 職業訓練生募集**

募集訓練科 事務科
内容 簿記会計の基礎、日商簿記試験対策、エクセル、ワード、パワーポイント等
定員 15人
期間 8月26日(月)~11月25日(月)
 9:35~15:55 (土・日・祝日除く)
場所 県立南部テクノスクール
受講料 テキスト代として約11,500円は自己負担
申込期間 7月5日(金)~8月6日(火)
申込先 居住地を所管する公共職業安定所 へ
 〇 公共職業安定所または南部テクノスクール (☎26-0250) へ

小松島航空基地開放

日時 7月15日(祝) 9:00~15:00
場所 小松島航空基地 (小松島市和田島町)
内容 航空機展示、消防車両展示、救命装備品展示、鮎のつかみ取り、その他基地内見学ツアー等 (予定)
 〇 海上自衛隊第24航空隊 総務室
 (☎0885-37-2111 内線257) へ

若者の就労相談会 (予約制)

働いておらず、職業訓練も学校も行っていない若者の働くことに関する相談に応じます。(家族からの相談も可)
日時 7月11日(水)、18日(水) 13:00~17:00
場所 文化会館1階 工芸室
 〇 とくしま地域若者サポートステーション
 (☎088-602-0553) へ

**裁判所サマーツアー2013
 「裁判」を経験しよう!**

日時 8月31日(土) 13:30~16:30
場所 徳島地方裁判所
内容 DVD視聴、模擬裁判、裁判官への質問コーナー、法廷見学
対象 小学5、6年生
定員 30人
申込締切日 7月5日(金) (必着)
 〇 徳島地方裁判所総務課庶務係
 (☎088-603-0111) へ



**遺言・相続・成年後見制度
 無料相談会**

日時 7月13日(土) 9:00~12:00
場所 ひまわり会館
内容 遺言の書き方、相続の手続き、成年後見制度や後見人をたてることなどに関する相談
 〇 コスモス徳島 (徳島県行政書士会内)
 (☎088-626-2083)
 土・日曜日は地域会員 花野
 (☎090-3787-0305) へ

行政書士による無料相談会

許認可手続きについて知りたい方は、ぜひご相談ください。
日時 7月20日(土) 9:00~12:00
場所 ひまわり会館
内容 行政に係る許認可手続き (農地転用、建設業関係、開発許可、自動車運送関係など)
 〇 徳島県行政書士会徳島南部支部
 (☎42-3173) へ



ダニによる感染症に注意

ダニに咬まれると感染症にかかることが知られています。徳島県では、「日本紅斑熱」「つつが虫病」「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」の発生が確認されています。これらにかからないために、農作業や野山に出かける時は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用するなど、なるべく肌の露出を少なくしましょう。

ダニに咬まれたら

できるだけ病院で取り除いてもらいましょう。咬まれたことに気づかないこともあるので、野外で活動した数日後に疑わしい症状(発疹、発熱等)がみられた場合は、速やかに病院で受診しましょう。

☎ 保健センター (☎22-1590) へ

熱中症対策を十分に!

熱中症は7~8月がもっとも多く、適切な予防対策が必要です。

【予防のポイント】

- ・こまめな水分、塩分補給
- ・涼しい服装
- ・外出時は日傘や帽子的着用
- ・室内の温度調整

【このようなことにも注意が必要】

- ・暑さの感じ方は人によって異なります。高齢者や子どもは周囲の人が見守ってみんなで協力して熱中症予防を呼びかけあいましょう
- ・節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないように

【熱中症かな?と思ったら】

- ①立ちくらみやこむらがり等の症状が見られる場合→水分と塩分の補給、服を緩め涼しい所で休む、体を冷やす
- ②頭痛、吐き気、嘔吐、だるさ等を感じる場合→①の対処をとっても回復しない時、自力で水分補給できない時は病院へ
- ③意識障害、言動がおかしいなどの症状がみられる場合→すぐに救急車を呼び、到着するまでの間は①の対処を行う

☎ 保健センター (☎22-1590) へ

かもだ岬温泉保養センター

【7月の休館日】

1日(月)、8日(月)、16日(火)
22日(月)、29日(月)

☎ かもだ岬温泉保養センター
(☎21-3030) へ



阿波踊り体操教室

日時 7月12日(金) 10:00~11:00
場所 ひまわり会館2階 ふれあいホール
講師 あなん阿波踊り体操愛好会
 (阿波踊り体操指導員)
対象 運動制限のない方(年齢制限なし)
持参物 飲み物、タオル、健康手帳(無い方は交付します)
 ☎ 保健センター (☎22-1590) へ

あなたの町で阿波踊り体操をやってみませんか?

阿波踊り体操指導員があなたの町にいつでもお伺いします。詳しくは、保健センターへお問い合わせください。

☎ 保健センター (☎22-1590) へ

食中毒に注意!

最近では1年を通して発生している食中毒ですが、梅雨頃から夏にかけて多く発生します。家庭では、次の6つのポイントに注意しましょう。

- ポイント1: 食品の購入**
新鮮な食材、期限表示を確認して購入
- ポイント2: 家庭での保存**
食品を持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫で保存
- ポイント3: 下準備**
手洗いの徹底ときれいな調理器具を使用
- ポイント4: 調理**
手洗いの徹底、十分な加熱
※目安は75℃で1分以上
- ポイント5: 食事**
手洗いの徹底とできた食事は早めに食べる
- ポイント6: 残った食品**
きれいな器具容器で冷蔵保存、再加熱は十分に



☎ 保健センター (☎22-1590) へ



+ 献血にご協力ください(7月)

実施日	採血場所	所在地	採血時間
18日(木)	阿南アピカ	西路見町	10:15~13:00
25日(木)	阿南市役所	富岡町	9:30~12:00
			13:00~16:30

※400ml献血のみの実施です。
 ※一般の方のご協力もよろしくお願ひします。
 ☎ 徳島県赤十字血液センター
 (☎088-631-3200) へ

達者でおろな健康教室

対象 おおむね65歳以上の方
内容 血圧測定、検尿、阿波踊り体操、講話「お口の中から若返り」
 講師: 歯科衛生士
持参物 健康手帳(無い方は交付します)

7月の日程		場所
2日(火)	10:00~11:30	新野公民館
	13:30~15:00	宝田公民館
3日(水)	10:00~11:30	中野島公民館上中分館
8日(月)	10:00~11:30	福井町総合センター
	13:30~15:00	長生公民館
9日(火)	10:00~11:30	中林ふれあい会館
10日(水)	10:00~11:30	那賀川社会福祉会館
	13:30~15:00	加茂谷総合センター
19日(金)	10:00~11:30	桑野コミュニティセンター
	13:30~15:00	羽ノ浦公民館
22日(月)	10:00~11:30	大野老人憩いの家
	13:30~15:00	橋町総合センター
23日(火)	10:00~11:30	椿公民館
	13:30~15:00	椿泊老人憩いの家

☎ 保健センター (☎22-1590) へ



「サポートママ」募集

子どもが好きな方で、乳幼児健診や相談の場で子育て中のお母さん方をサポートしてくださるボランティアを募集しています。ご連絡お待ちしております。

☎ 保健センター (☎22-1590) へ



7月 地域子育て支援センター

お子さんの健やかな成長を願い、無料で施設を開放して育児支援を行っています。



みんなのひろば ☎44-5059

羽ノ浦さくら保育所子育て支援センター
平日 9:00~14:00 (お弁当タイム11:45~)

- 2日(火) 手作りおやつ(乳酸飲料)
※要予約
- 5日(金) 七夕かざり
- 9日(火) 「乳幼児救急法」 10:00~11:00
講師：徳島赤十字乳児院
幼児安全法指導員 新居光子さん
- 19日(金) シャボン玉あそび
- 23日(火) おはなしをきこう
- 30日(火) お誕生会
- 12日(金)・16日(火)・26日(金)
うたって遊ぼう

にこにこひろば ☎42-0720

今津こどもセンター 平日 8:30~12:00
14:00~15:30

- 2日(火) もうすぐ七夕
- 9日(火) 水あそびのおもちゃを作るう
- 16日(火) おはなしのポケット
- 23日(火) お誕生会
- 30日(火) 乳幼児の救急安全法

ふれあいひろば ☎28-1725

橘こどもセンター 平日 9:00~14:00
※開放時間が変わっています。

- 2日(火) 七夕飾りをつくるう
- 9日(火) おはなしだいすき
- 16日(火) 栄養指導
- 23日(火) みんなで遊ぼう
- 30日(火) お誕生会

なかよしひろば ☎21-2002

平島こどもセンター 平日 9:00~14:00

- 2日(火) 七夕まつり
- 9日(火) おはなしのポケット
- 16日(火) 作って遊ぼう
- 23日(火) みんなでクッキング
- 30日(火) お誕生日



7月

つどいの広場・すくすく in 阿南

子育て相談や子どもと保護者間の交流の場です。ぜひお越しください。

時間 9:30~11:30
日程 12日(金) 桑野公民館
24日(水) 福井公民館
26日(金) 加茂谷公民館
※ひまわり会館すこやかルームは
2日(火)、5日(金)、9日(火)、16日(火)、
19日(金)
☎ こども課 (☎22-1593) へ



阿南ファミリーサポートセンター

●親子で楽しむ七夕交流会

日時 7月6日(出) 10:00~12:00
場所 社会福祉会館5階
内容 ▼おはなしのポケット▼じゃんけん
大会▼願い事を書こう▼おみやげ
※入場無料、申込み不要

●ウエルカム阿南(転入者のための交流会)

今回は阿南市の子育て環境について、広報あなんの取材があります。皆さんの貴重なご意見をお待ちしています。
日時 7月10日(水) 10:00~11:30
場所 ひまわり会館1階 すこやかルーム

●依頼・両方会員向けこども陶芸教室

夏休みに親子でマグカップを作りませんか。
日時 7月23日(火)
10:00~12:00 (形成)
30日(火)
10:00~12:00 (絵付け)
※2日とも参加が必要です。(保護者同伴)
場所 社会福祉会館5階
定員 子ども30人(先着)
持参物 エプロン
参加費 500円
※予約が必要です。

☎ 阿南ファミリーサポートセンター
(☎24-5550)へ

7月

おひさまひろば 平日 9:00~16:00

(※=要予約)

- 1日(月) 笹かざり制作
 - 3日(水) 七夕まつり※
 - 4日(木) 英語で遊ぼう
 - 5日(金) 高齢者とのふれあい会※
 - 8日(月) 看護師による健康相談・発育計測
 - 9日(火) ミュージックケア(幼児)※
 - 11日(木) お誕生会
 - 16日(火) 発育計測
 - 17日(水) 乳幼児のための心肺蘇生法
 - 25日(木) ミュージックケア(乳児)※
 - 26日(金) おはなしコロリン
- ☎ 那賀川子育て支援センター
(☎0885-38-1163) へ



児童手当現況届の提出はお済みですか？

現在受給中の方も現況届の提出がない場合は、6月分からの児童手当を受給することが出来ません。未提出の方は、7月31日(水)までに提出してください。

提出先 市こども相談室または各支所、各住民センター
☎ こども相談室 (☎22-1677) へ

子育て一言メモ

—ほめる覚悟—

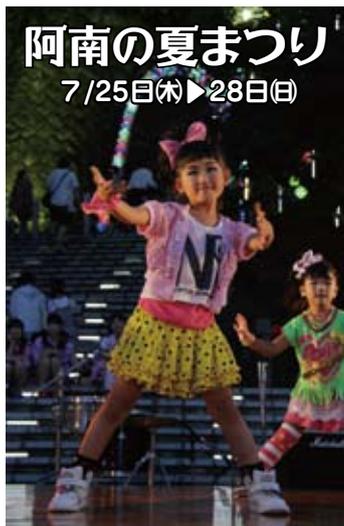
「子どもは、ほめて育てよう」とよくいわれます。確かに、ほめられると気分がよくなり、次の取組への意欲付けにもなります。言い換えれば、自己有能感や自尊感情が高まり、持てる能力を最大限発揮しようとするのです。「ほめて伸ばす」は、子育てをする上での1つの真理であります。

しかし、ほめるポイントは年齢とともに変わってきます。やみくもに何でもほめればよいというわけではありません。ある程度の年齢になるとほめる側の心のうちを見透かされ、逆効果になることさえ考えられます。

そこで私たち大人は、ほめる覚悟を持たなければなりません。ここをほめればこの子は伸びるというポイントを見つけるために努力をしなければなりません。そのためには、しっかりと子どもを見つめ、小さな変化にも気づく心の目を持たねばなりません。これは、かなり根気のいることです。子どもを伸ばすには時間と労力が必要です。

学校教育課

夏休みの催し (7月)



阿南の夏まつり
7/25日(木)▶28日(日)

- 25日(木) 前夜祭(牛岐城趾公園)
光の点灯式・光の天使選考会ほか
- 26日(金) 17:00～ 開幕パレード(阿南駅前スタート)
18:30～ 開幕セレモニー(牛岐城趾公園)
阿波踊り大会(牛岐城趾公園ほか)
- 27日(土) 18:30～ 阿波踊り大会(牛岐城趾公園ほか)
- 28日(日) 20:00～ 花火大会(浜ノ浦公園)



☎ 商工観光労政課 (☎22-3290) へ

夏休みクッキー教室(無料)

日時 8月4日(日) 9:15～12:00
場所 ひまわり会館3階 グルメルーム
持参物 エプロン・三角巾・ハンカチ
募集人員 50人(先着順)
申込方法 はがきに名前(ふりがな)、性別、学年、住所、電話番号を記入のうえ、7月14日(日)までにお申し込みください。
 ※当日は、必ず保護者の方が送迎してください。
申込み先 〒779-1510阿南市新野町西馬場2 主任児童委員 中村敏子
 ☎ 主任児童委員 中村(☎36-2156) または、主任児童委員 松原(☎36-2548)へ



親子の水泳教室(募集60組)

対象 市内在住で、泳げない子もしくは、10m程度泳げる子とその親
日時 7月26日(金) 9:30～11:30
 27日(土)、28日(日) 10:00～11:00
 8月2日(金)、3日(土) 10:00～11:30
 4日(日) 10:00～12:30
場所 スポーツ総合センター温水プール
申込期間 7月19日(金)までの平日9:00～17:00
参加費 無料(※毎回、大人500円、子ども300円の入泳料が必要)
 ☎ スポーツ振興課 (☎22-3394) へ



プールをご利用ください

◆那賀川B&G海洋センター
日時 7月27日(土)～8月31日(土)の内、土・日曜日の13:00～16:00
料金 小・中学生200円
 高校生以上300円
 ※団体等で利用される場合は、事前にお問い合わせください。
 ◆温水プールの一般開放時間の変更
 7月26日(金)、8月2日(金)、3日(土)、4日(日)は12:00～21:00に、7月27日(土)、28日(日)は11:00～21:00に変更します。
 ☎ スポーツ振興課 (☎22-3394) へ



カヌー、OPヨット体験教室に参加しよう!

場所 B&G海洋センター艇庫(大瀨町)
開催日 7月28日(日)、8月10日(土)、11日(日)
時間 9:00～12:00
対象 小学4～6年生の児童
参加料 800円(スポーツ安全保険料)
 ☎ スポーツ振興課 (☎22-3394) へ



子ども英語教室

日程 《就学前年長児・小1年生》
 7月22日(月)～25日(木)
 《小学2・3年生》
 7月30日(火)～8月2日(金)
 《小学4・5・6年生》
 8月6日(火)～9日(金)
時間 9:30～11:30
場所 富岡公民館2階 ホール
参加費 無料
定員 各教室30人程度(先着順)
申込期間 7月1日(月)～12日(金)の平日9:00～17:00
 ※飲み物は各自で用意してください。
 ☎ 教育研究所 (☎22-3395) へ



植物標本

対象 小・中学生
場所 阿南図書館3階 視聴覚室
 ※飲み物は各自で用意してください。
日程
《作成会》 7月21日(日) 9:30～12:00
持参物 はさみ、のり、筆記用具
申込締切日 7月18日(木)
《名付け会》 8月23日(金) 9:30～15:30
持参物 植物標本、付せん、はさみ、筆記用具
 ※先着順で名付けを行います。
 ※事前の申込みは不要です。
 ☎ 教育研究所 (☎22-3395) へ

夏休み親子ふれあい陶芸教室

日時 8月4日(日)
 ①10:00～11:30 ②13:00～14:30
場所 文化会館陶芸室・工芸室
対象 市内の小中学生とその保護者
定員 15組35人
 ※保護者1人に児童2人まで参加可能
参加費 2,000円(児童2人の場合は3,000円)
申込方法 往復はがきに、①児童氏名、学校名、学年②保護者氏名③住所④電話番号⑤希望時間を記入のうえ、親子陶芸教室係までお申し込みください。
申込締切日 7月19日(金)
 ※託児(10カ月～未就学児)を希望する方は事前にお申し込みください。
 ☎ 〒774-0030富岡町西池田135番地 NPO法人夢ホール市民協議会 夢つくりあなん (☎23-5599) へ

7月の相談

日 開催日 時 時間 所 場所
 予 予約受付 問 問い合わせ先

法律相談（要予約） 4日(木)

時 13:30～16:30 所 市役所1階 市民相談室
 予 1カ月前から 問 市民生活課 ☎22-1116
 ※内容により、お受けできない場合があります。

行政相談 9日(火)・23日(火)

時 9:30～11:30 所 市役所1階 市民相談室
 問 市民生活課 ☎22-1116

司法書士による法律相談 26日(金)

時 14:00～16:00 所 ひまわり会館1階
 問 市民生活課 ☎22-1116

消費生活相談 平日開館

時 9:30～16:30 所 消費生活センター
 問 消費生活センター ☎24-3251

特設人権相談 10日(水)

時 13:30～16:00 所 橘公民館・福井公民館
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

人権相談 30日(火)

時 13:30～16:00 所 ひまわり会館1階
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

女性の生き方なんでも相談（要予約）

日 2・9・16・23・30日 時 13:00～17:00
 日 12・26日 時 13:00～16:00
 所 市民会館2階 相談室 予 随時
 問 男女共同参画室分室 ☎22-0361

年金相談（要予約） 4日(木)

時 9:00～15:30 所 市商工業振興センター
 予 1カ月前から電話による完全予約制
 問 徳島南年金事務所 ☎088-652-1511
 ※8月の相談日はありません。

子育て家庭教育電話相談（来所相談可）

日 月曜日～金曜日（祝日除く） 時 9:00～12:00
 問 子育て家庭教育支援チーム ☎42-3885

心配ごと相談 1日(月)・8日(月)・22日(月)・29日(月)

時 10:00～15:00 所 市民会館内社会福祉協議会
 問 社会福祉協議会 ☎23-7288

編集室の窓

生物多様性基本法が成立して5年。豊かな生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会の実現に向けた取組が推し進められています。本市も阿南高専と連携を図りながらその施策の策定に取り組んでいるところで、加茂谷地域のカタツムリがその道しるべとなることを期待しています。特集を組むにあたり、松田さんには、企画から編集まで大変お世話になりました。ありがとうございました。（山田）
 「阿南ぶらりまち紀行」を初めて担当しました。それまで婚活イベントという何となく堅苦しいイメージを持っていましたが、実際の会場の雰囲気は和気あいあいとしていて、本当に楽しそうな参加者の皆さんの横顔が印象的でした。阿南de愛隊の婚活イベント、おすすめです。（相田）

7月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、市内の医療機関で受診できます。

●休日昼間 9:00～17:00

日	医療機関名	所在地	問い合わせは
7日	古川小児科内科医院	領家町	☎23-3306
14日	けんなんメンタルクリニック	日開野町	☎23-6522
15日	井原医院	見能林町	☎21-0021
21日	馬原医院	新野町	☎36-3339
28日	宮本病院	羽ノ浦町	☎44-4343

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会（☎22-1313）までお問い合わせください。

●夜間(毎日)の当番 17:00～22:00

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内
 ※阿南市医師会（☎22-1313）までお問い合わせください。

●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れています。（事前の電話連絡は不要です。）

7月の市税

■固定資産税（第2期） ■国民健康保険税（第2期）
 納期限は、7月31日(火)です。納め忘れのないようにしましょう。

●市税の口座振替について

市県民税（全期）の口座振替済通知書は7月中旬に郵送致します。

日曜相談窓口 28日(日) 8:30～17:00（市役所1階納税課）

問い合わせは 納税課（☎22-1792）へ

7月の平日延長窓口

3日(水)、17日(水) 17:15～18:15 市役所本庁1階

●住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、身分証明書の交付
 （※時間延長時は、住民異動・印鑑登録・住基カードの発行等は行っていません。）

市民生活課（☎22-1116）へ

●納税相談 納税課（☎22-1792）へ

スポーツ施設7月の休館日

サンアリーナ（温水プール）	1・8・16・22・29日
那賀川スポーツセンター	3・10・17・24・31日
羽ノ浦総合国民体育館	1・8・16・22・29日
羽ノ浦健康スポーツランド	1・8・16・22・29日
県南部総合運動公園	2・9・16・23・30日

人口と世帯数

人口 77,002人（-80） 世帯数 30,058世帯（-2）
 （男）37,145人（-37）
 （女）39,857人（-43）
 ※平成25年5月末日現在
 カッコ内は前月対比

阿南 ぶらりまち紀行

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

～地域の輝き～

第84回

阿南de愛隊



「全力婚活!!」。印象的なフレーズが躍るのには、「阿南de愛隊」のイベント参加者募集を呼びかけるポスターだ。企画する婚活イベントは、200人規模の大きなものや料理教室や野球観戦を取り入れたものなど、趣向を凝らしたもののばかり。ホームページでの情報提供なども意欲的に行っているほか、よしもとの徳島県に住みます芸人のキャンパスボーイが婚活応援大使を務めており、イベントを盛り上げる。

昨年、市内で婚活支援に取り組んでいる団体が集い、阿南de愛隊は結成された。加わったのは官民8団体から11人。おかげで個々の団体では難しかった大規模なイベントや他団体とのコラボ企画なども手がけられるようになり、また情報交換も容易になった。阿南で運命の相手に「会いたい」若者と、出会いの場を提供したい「出会い隊」の皆さん。ユニークな名前には、そんな意味が込められている。



過去5回(平成25年6月現在)のイベントでは計12組のカップルが誕生するなど成果も上々。参加者からは「リラックスしやすい雰囲気楽しかった」「普段会えないような人と出会えてうれしい」など好意的な声がたくさん聞かれる。

副会長の中川賀郷さん(福井町)は語る。「やりがいを感じるのには、参加者の笑顔を見たときですね。阿南de愛隊のイベントが若者たちの出会いのきっかけとなり、そして最終的に結婚へと結び付く縁になってくれればと思います」。

阿南de愛隊が結成されたのは、ちょうど七夕の季節。参加者の皆さんは、イベントを通じてたくさんの人と出会うことができる。そこのひとつひとつの出会いには、まさに奇跡。阿南de愛隊がひとつでも多く、若者の運命の相手とのドラマチックな出会いを「橋渡し」できますように。夜空に輝く天の川を見上げながら、そんなことを願いたい。